

第3章 同和問題に関する意識の現状と今後の展望

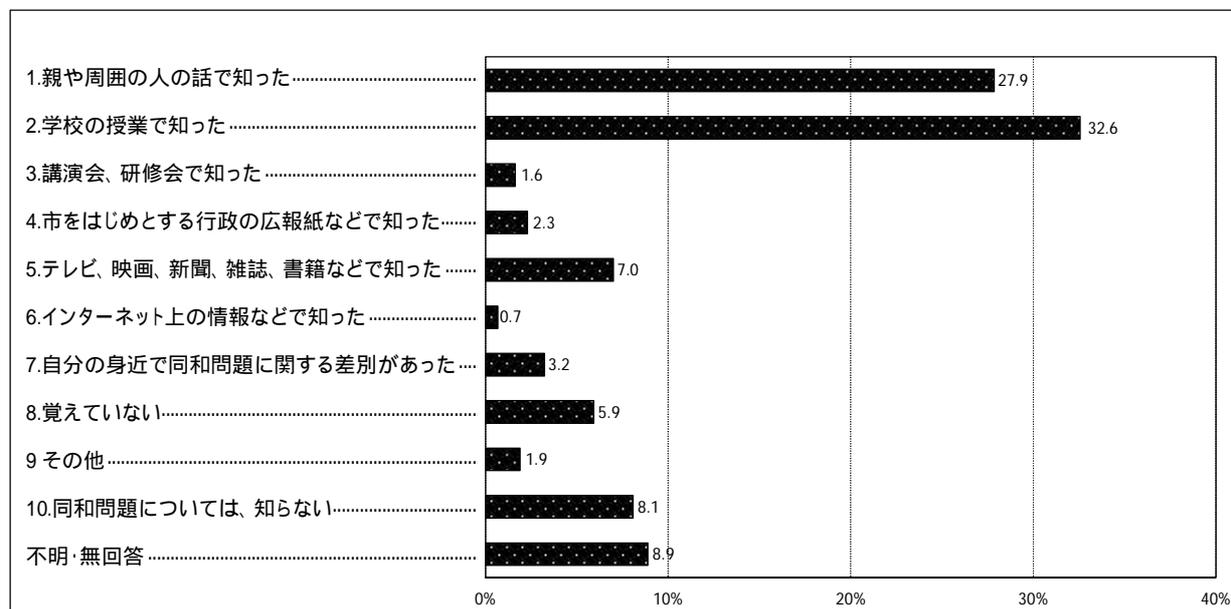
3-1. 同和問題を知ったきっかけ

問7 あなたが、同和問題について、はじめて知ったのはどういうことがきっかけでしたか。(は1つ)

【表3-1-1 同和問題を知ったきっかけ】

	(上段:人、下段:%)											
	親や周囲の人の話で知った	学校の授業で知った	講演会、研修会で知った	市をはじめとする行政の広報紙などで知った	テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った	インターネット上の情報などで知った	自分の身近で同和問題に関する差別があった	覚えていない	その他	同和問題については、知らない	不明・無回答	合計
市全体	207	242	12	17	52	5	24	44	14	60	66	743
	27.9	32.6	1.6	2.3	7.0	0.7	3.2	5.9	1.9	8.1	8.9	100.0

【図3-1 同和問題を知ったきっかけ】



同和問題をはじめて知ったきっかけについて尋ねたところ、「2.学校の授業で知った」と答えた人の割合が32.6%と最も高く、次いで「1.親や周囲の人の話で知った」が27.9%、「10.同和問題については、知らない」が8.1%となっている。

性別でみると、男性では「1.親や周囲の人の話で知った」と「2.学校の授業で知った」で、ともに30.1%と最も高く、次いで「5.テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った」が7.4%となっている。

女性では「2.学校の授業で知った」が34.6%と最も高く、次いで「1.親や周囲の人の話で知った」27.2%、「10.同和問題については、知らない」が8.6%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、10歳代では「10.同和問題については、知らない」が38.5%であり、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代では「2.学校の授業で知った」であり、数値は各々40.7%、51.0%、59.7%、54.8%となっており、60歳代、70歳以上では「1.親や周囲の人の話で知った」であり、各々46.7%、42.0%となっている。【表3-1-2】

【表3-1-2 性別・年齢別 同和問題を知ったきっかけ】

		(上段:人、下段:%)											
		親や周囲の人の話で知った	学校の授業で知った	講演会、研修会で知った	市をはじめとする行政の広報紙などで知った	テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った	インターネット上の情報などで知った	自分の身近で同和問題に関する差別があった	覚えていない	その他	同和問題については、知らない	不明・無回答	合計
市全体		207 27.9	242 32.6	12 1.6	17 2.3	52 7.0	5 0.7	24 3.2	44 5.9	14 1.9	60 8.1	66 8.9	743 100.0
性別	男性	90 30.1	90 30.1	7 2.3	8 2.7	22 7.4	4 1.3	12 4.0	20 6.7	3 1.0	21 7.0	22 7.4	299 100.0
	女性	114 27.2	145 34.6	5 1.2	8 1.9	25 6.0	1 0.2	12 2.9	23 5.5	10 2.4	36 8.6	40 9.5	419 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 25.0	1 0.0	4 100.0
	不明・無回答	3 14.3	4 19.0	0 0.0	1 4.8	5 23.8	0 0.0	0 0.0	1 4.8	1 4.8	2 9.5	4 19.0	21 100.0
	不明・無回答	1 7.7	4 30.8	0 0.0	0 0.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 38.5	1 7.7	13 100.0
年齢別	10歳代	12 20.3	24 40.7	0 0.0	0 0.0	2 3.4	1 1.7	0 0.0	7 11.9	1 1.7	8 13.6	4 6.8	59 100.0
	20歳代	8 8.0	51 51.0	2 2.0	1 1.0	5 5.0	1 1.0	0 0.0	7 7.0	0 0.0	19 19.0	6 6.0	100 100.0
	30歳代	18 15.1	71 59.7	1 0.8	1 0.8	1 0.8	2 1.7	3 2.5	7 5.9	3 2.5	4 3.4	8 6.7	119 100.0
	40歳代	30 24.2	68 54.8	0 0.0	2 1.6	5 4.0	0 0.0	2 1.6	5 4.0	2 1.6	3 2.4	7 5.6	124 100.0
	50歳代	64 46.7	11 8.0	4 2.9	1 0.7	15 10.9	0 0.0	9 6.6	9 6.6	1 0.7	7 5.1	16 11.7	137 100.0
	60歳代	71 42.0	9 5.3	5 3.0	10 5.9	19 11.2	0 0.0	10 5.9	8 4.7	6 3.6	12 7.1	19 11.2	169 100.0
	70歳以上	3 13.6	4 18.2	0 0.0	2 9.1	4 18.2	0 0.0	0 0.0	1 4.5	1 4.5	2 9.1	5 22.7	22 100.0
	不明・無回答	3 13.6	4 18.2	0 0.0	2 9.1	4 18.2	0 0.0	0 0.0	1 4.5	1 4.5	2 9.1	5 22.7	22 100.0
	不明・無回答	3 13.6	4 18.2	0 0.0	2 9.1	4 18.2	0 0.0	0 0.0	1 4.5	1 4.5	2 9.1	5 22.7	22 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「公務員、教員」「非正規雇用」では「2.学校の授業で知った」であり、数値は各々44.4%、42.5%、58.3%、38.6%となっており、「家事専業、学生、無職」では「1.親や周囲の人の話で知った」で33.4%となっている。

【表3-1-3】

【表3-1-3 職業別 同和問題を知ったきっかけ】

	(上段:人、下段:%)											
	親や周囲の人の話で知った	学校の授業で知った	講演会、研修会で知った	市をはじめとする行政の広報紙などで知った	テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った	インターネット上の情報などで知った	別が自分の身近で同和問題に関する差があった	覚えていない	その他	同和問題については、知らない	不明・無回答	合計
市全体	207 27.9	242 32.6	12 1.6	17 2.3	52 7.0	5 0.7	24 3.2	44 5.9	14 1.9	60 8.1	66 8.9	743 100.0
自営業	19 23.5	36 44.4	1 1.2	2 2.5	4 4.9	0 0.0	3 3.7	7 8.6	1 1.2	1 1.2	7 8.6	81 100.0
民間正規雇用	41 21.2	82 42.5	3 1.6	2 1.0	10 5.2	2 1.0	3 1.6	15 7.8	3 1.6	18 9.3	14 7.3	193 100.0
公務員、教員	5 20.8	14 58.3	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	1 4.2	2 8.3	1 4.2	0 0.0	0 0.0	24 100.0
非正規雇用	36 28.3	49 38.6	1 0.8	2 1.6	5 3.9	2 1.6	4 3.1	5 3.9	2 1.6	12 9.4	9 7.1	127 100.0
家事専業、学生、無職	102 33.4	60 19.7	7 2.3	10 3.3	31 10.2	1 0.3	12 3.9	15 4.9	7 2.3	28 9.2	32 10.5	305 100.0
不明・無回答	4 30.8	1 7.7	0 0.0	0 0.0	2 15.4	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	1 7.7	4 30.8	13 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」「高校卒」では「1.親や周囲の人の話で知った」であり、数値は各々27.0%、34.5%となっており、「短大卒」「大学卒」では「2.学校の授業で知った」であり、各々42.2%、45.0%となっている。【表3-1-4】

【表3-1-4 学歴別 同和問題を知ったきっかけ】

	(上段:人、下段:%)												
	親や周囲の人の話で知った	学校の授業で知った	講演会、研修会で知った	市をはじめとする行政の広報紙などで知った	テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った	インターネット上の情報などで知った	別が自分の身近で同和問題に関する差があった	覚えていない	その他	同和問題については、知らない	不明・無回答	合計	
市全体	207 27.9	242 32.6	12 1.6	17 2.3	52 7.0	5 0.7	24 3.2	44 5.9	14 1.9	60 8.1	66 8.9	743 100.0	
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	27 27.0	10 10.0	1 1.0	6 6.0	16 16.0	0 0.0	9 9.0	6 6.0	3 3.0	12 12.0	10 10.0	100 100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	91 34.5	73 27.7	5 1.9	8 3.0	17 6.4	0 0.0	7 2.7	15 5.7	4 1.5	23 8.7	21 8.0	264 100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	36 23.4	65 42.2	3 1.9	2 1.3	7 4.5	3 1.9	5 3.2	6 3.9	4 2.6	11 7.1	12 7.8	154 100.0
	4.大学、大学院	46 23.0	90 45.0	3 1.5	1 0.5	10 5.0	2 1.0	2 1.0	17 8.5	2 1.0	11 5.5	16 8.0	200 100.0
	5.その他	1 11.1	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	2 22.2	3 33.3	9 100.0
	不明・無回答	6 37.5	2 12.5	0 0.0	0 0.0	2 12.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	1 6.3	4 25.0	16 100.0

3 - 2 . 同和問題に関する学習経験

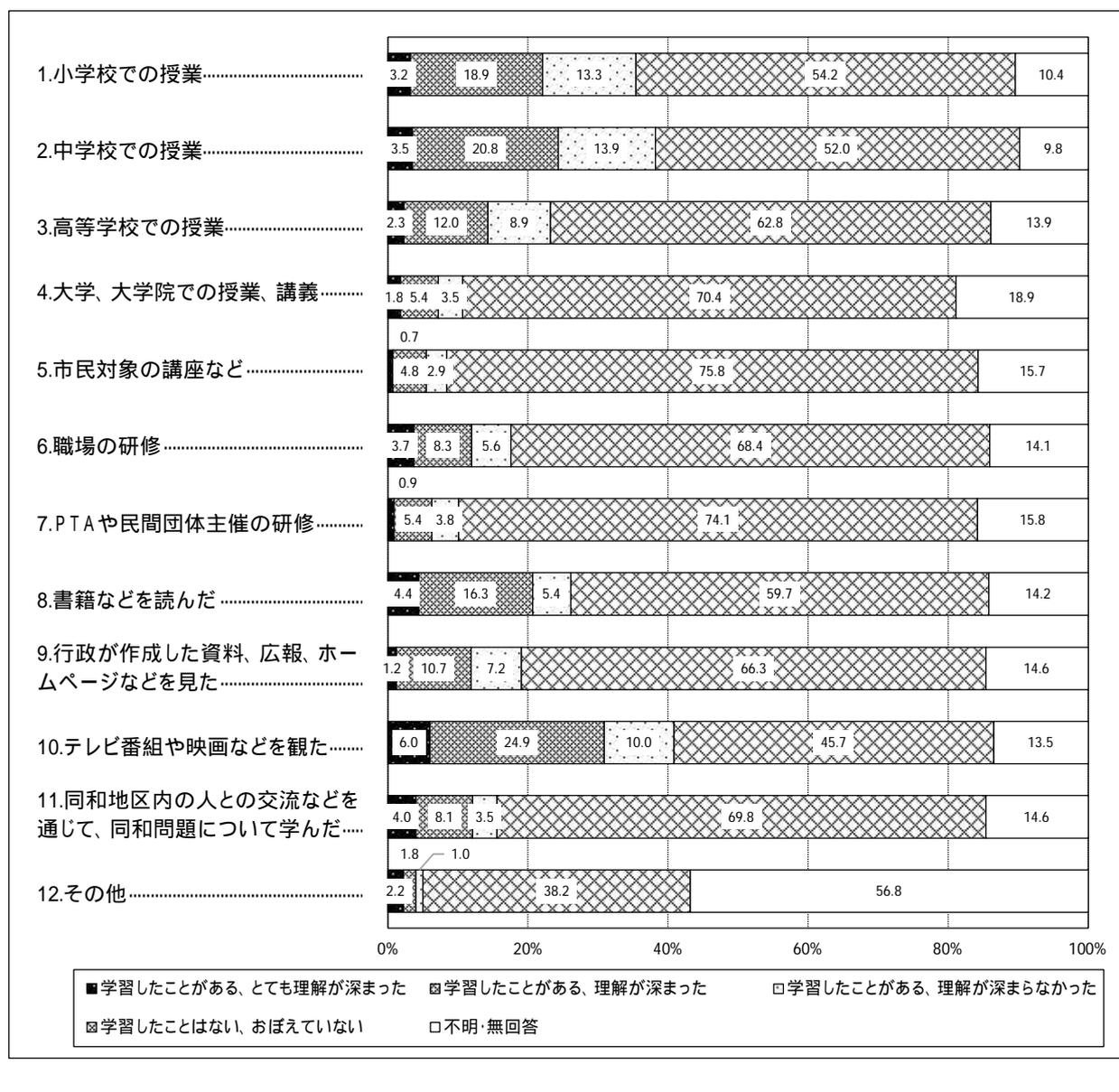
問8 あなたは、同和問題について、学習した（または啓発を受けた）ことがありますか。それはどのような機会を通じてでしたか。また、それらの機会を通じて、同和問題についてどの程度、理解が深まりましたか。（それぞれ1つに ）

【表3 - 2 - 1 人権問題に関する学習経験】

(上段:人、下段:%)

	と学習も理解が深まった	理解が深まった	理解が深まらなかった	おぼえていない	不明・無回答	合計
(1) 小学校での授業	22	129	91	370	71	683
	3.2	18.9	13.3	54.2	10.4	100.0
(2) 中学校での授業	24	142	95	355	67	683
	3.5	20.8	13.9	52.0	9.8	100.0
(3) 高等学校での授業	16	82	61	429	95	683
	2.3	12.0	8.9	62.8	13.9	100.0
(4) 大学、大学院での授業、講義	12	37	24	481	129	683
	1.8	5.4	3.5	70.4	18.9	100.0
(5) 市民対象の講座など	5	33	20	518	107	683
	0.7	4.8	2.9	75.8	15.7	100.0
(6) 職場の研修	25	57	38	467	96	683
	3.7	8.3	5.6	68.4	14.1	100.0
(7) PTAや民間団体主催の研修	6	37	26	506	108	683
	0.9	5.4	3.8	74.1	15.8	100.0
(8) 書籍などを読んだ	30	111	37	408	97	683
	4.4	16.3	5.4	59.7	14.2	100.0
(9) 行政が作成した資料、広報、ホームページなどを見た	8	73	49	453	100	683
	1.2	10.7	7.2	66.3	14.6	100.0
(10) テレビ番組や映画などを観た	41	170	68	312	92	683
	6.0	24.9	10.0	45.7	13.5	100.0
(11) 同和地区内の人との交流などを通じて、同和問題について学んだ	27	55	24	477	100	683
	4.0	8.1	3.5	69.8	14.6	100.0
(12) その他	15	12	7	261	388	683
	2.2	1.8	1.0	38.2	56.8	100.0

【図3-2 人権問題に関する学習経験】



同和問題に関する学習経験について尋ねたところ、「学習したことがある」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、『(10)テレビ番組や映画などを観た』で40.8%、次いで『(2)中学校での授業』が38.2%、『(1)小学校での授業』が35.4%となっている。

一方で、「とても理解が深まった」「理解が深まった」と答えた人の合計の割合は、『(10)テレビ番組や映画などを観た』で30.9%、次いで『(2)中学校での授業』が24.3%、『(1)小学校での授業』が22.1%となっている。

性別でみると、「学習したことがある」と答えた人の合計の割合は、男性では『(10)テレビ番組や映画などを観た』が40.6%と最も高く、次いで『(2)中学校での授業』が39.6%、『(1)小学校での授業』が36.3%となっている。

女性では『(10)テレビ番組や映画などを観た』が41.0%と最も高く、次いで『(2)中学校での授業』が37.1%、『(1)小学校での授業』が35.5%となっている。

一方で、「とても理解が深まった」「理解が深まった」と答えた人の合計の割合は、男性では『(10)テレビ番組や映画などを観た』で32.0%、次いで『(2)中学校での授業』が26.6%、『(8)書籍などを讀んだ』が23.4%となっている。

女性では『(10)テレビ番組や映画などを観た』で30.3%、次いで『(1)小学校での授業』が23.8%、『(2)中学校での授業』が23.5%、となっている。

年齢別で見ると、「学習したことがある」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、10歳代、20歳代、30歳代では『(2)中学校での授業』であり、数値は各々75.0%、66.7%、60.5%となっており、40歳代では『(1)小学校での授業』で65.2%、50歳代、60歳代、70歳以上では『(10)テレビ番組や映画などを観た』で52.9%、48.5%、28.7%となっている。

一方で、「とても理解が深まった」「理解が深まった」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、10歳代、20歳代、30歳代では『(2)中学校での授業』であり、数値は各々75.0%、37.3%、42.0%となっており、40歳代では『(1)小学校での授業』で41.7%、50歳代、60歳代では『(10)テレビ番組や映画などを観た』で39.7%、36.2%となっており、70歳以上では『(8)書籍などを讀んだ』で22.3%となっている。【表3-2-2】

【表3-2-2 性別・年齢別 人権問題に関する学習経験】

		(1)小学校での授業					(2)中学校での授業								
		(上段:人, 下段:%)					(上段:人, 下段:%)								
	性別	とても理解が深まった、	学習したことがある、	学習したことがある、	学習したことがある、	おぼえていない、	不明・無回答	合計	とても理解が深まった、	学習したことがある、	学習したことがある、	学習したことがある、	おぼえていない、	不明・無回答	合計
	市全体	22 3.2	129 18.9	91 13.3	370 54.2	71 10.4	683 100.0	24 3.5	142 20.8	95 13.9	355 52.0	67 9.8	683 100.0		
	男性	8 2.9	50 18.0	43 15.5	145 52.2	32 11.5	278 100.0	7 2.5	67 24.1	36 12.9	138 49.6	30 10.8	278 100.0		
	女性	13 3.4	78 20.4	45 11.7	210 54.8	37 9.7	383 100.0	17 4.4	73 19.1	52 13.6	207 54.0	34 8.9	383 100.0		
	その他、回答したくない	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	3 100.0		
	不明・無回答	1 5.3	0 0.0	2 10.5	14 73.7	2 10.5	19 100.0	0 0.0	0 0.0	7 36.8	9 47.4	3 15.8	19 100.0		
	10歳代	1 12.5	2 25.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	8 100.0	0 0.0	6 75.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	8 100.0		
	20歳代	0 0.0	17 33.3	10 19.6	24 47.1	0 0.0	51 100.0	2 3.9	17 33.3	15 29.4	17 33.3	0 0.0	51 100.0		
	30歳代	5 6.2	26 32.1	15 18.5	35 43.2	0 0.0	81 100.0	5 6.2	29 35.8	15 18.5	32 39.5	0 0.0	81 100.0		
	40歳代	9 7.8	39 33.9	27 23.5	35 30.4	5 4.3	115 100.0	8 7.0	32 27.8	17 14.8	53 46.1	5 4.3	115 100.0		
	50歳代	3 2.5	31 25.6	26 21.5	52 43.0	9 7.4	121 100.0	6 5.0	33 27.3	23 19.0	53 43.8	6 5.0	121 100.0		
	60歳代	0 0.0	4 3.1	6 4.6	105 80.8	15 11.5	130 100.0	0 0.0	12 9.2	11 8.5	95 73.1	12 9.2	130 100.0		
	70歳以上	2 1.3	10 6.4	3 1.9	102 65.0	40 25.5	157 100.0	2 1.3	13 8.3	7 4.5	95 60.5	40 25.5	157 100.0		
	不明・無回答	2 10.0	0 0.0	2 10.0	14 70.0	2 10.0	20 100.0	1 5.0	0 0.0	7 35.0	8 40.0	4 20.0	20 100.0		

(3)高等学校での授業

		とて も 学 習 し た こ と が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 学 習 し た こ と が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 学 習 し た こ と が あ る 、 理 解 が 深 ま ら な か っ た	お ぼ え て い な い 、 学 習 し た こ と は な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		16 2.3	82 12.0	61 8.9	429 62.8	95 13.9	683 100.0
性別	男性	3 1.1	40 14.4	24 8.6	171 61.5	40 14.4	278 100.0
	女性	12 3.1	40 10.4	32 8.4	249 65.0	50 13.1	383 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	3 100.0
	不明・無回答	1 5.3	0 0.0	5 26.3	8 42.1	5 26.3	19 100.0
年齢別	10歳代	1 12.5	4 50.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0	8 100.0
	20歳代	0 0.0	11 21.6	8 15.7	31 60.8	1 2.0	51 100.0
	30歳代	2 2.5	13 16.0	7 8.6	59 72.8	0 0.0	81 100.0
	40歳代	2 1.7	17 14.8	10 8.7	78 67.8	8 7.0	115 100.0
	50歳代	5 4.1	22 18.2	15 12.4	69 57.0	10 8.3	121 100.0
	60歳代	3 2.3	9 6.9	7 5.4	95 73.1	16 12.3	130 100.0
	70歳以上	1 0.6	6 3.8	9 5.7	86 54.8	55 35.0	157 100.0
	不明・無回答	2 10.0	0 0.0	5 25.0	8 40.0	5 25.0	20 100.0

(4) 大学、大学院での授業、講義

		とて も 学 習 し た こ と が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 学 習 し た こ と が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 学 習 し た こ と が あ る 、 理 解 が 深 ま ら な か っ た	お ぼ え て い な い 、 学 習 し た こ と は な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		12 1.8	37 5.4	24 3.5	481 70.4	129 18.9	683 100.0
性別	男性	4 1.4	20 7.2	12 4.3	192 69.1	50 18.0	278 100.0
	女性	8 2.1	16 4.2	12 3.1	278 72.6	69 18.0	383 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	3 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 47.4	10 52.6	19 100.0
年齢別	10歳代	0 0.0	1 12.5	0 0.0	7 87.5	0 0.0	8 100.0
	20歳代	4 7.8	6 11.8	3 5.9	36 70.6	2 3.9	51 100.0
	30歳代	2 2.5	8 9.9	3 3.7	67 82.7	1 1.2	81 100.0
	40歳代	1 0.9	6 5.2	3 2.6	95 82.6	10 8.7	115 100.0
	50歳代	3 2.5	10 8.3	9 7.4	83 68.6	16 13.2	121 100.0
	60歳代	1 0.8	3 2.3	6 4.6	98 75.4	22 16.9	130 100.0
	70歳以上	1 0.6	3 1.9	0 0.0	86 54.8	67 42.7	157 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 45.0	11 55.0	20 100.0

(5)市民対象の講座など

		とて も 学 習 し た こ と が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 学 習 し た こ と が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 学 習 し た こ と が あ る 、 理 解 が 深 ま ら な か っ た	お ぼ え て い な い 、 学 習 し た こ と は な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		5 0.7	33 4.8	20 2.9	518 75.8	107 15.7	683 100.0
性別	男性	3 1.1	18 6.5	6 2.2	211 75.9	40 14.4	278 100.0
	女性	1 0.3	15 3.9	13 3.4	294 76.8	60 15.7	383 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	3 100.0
	不明・無回答	1 5.3	0 0.0	1 5.3	10 52.6	7 36.8	19 100.0
年齢別	10歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 100.0	0 0.0	8 100.0
	20歳代	1 2.0	1 2.0	0 0.0	47 92.2	2 3.9	51 100.0
	30歳代	0 0.0	1 1.2	1 1.2	78 96.3	1 1.2	81 100.0
	40歳代	0 0.0	4 3.5	3 2.6	100 87.0	8 7.0	115 100.0
	50歳代	0 0.0	5 4.1	4 3.3	98 81.0	14 11.6	121 100.0
	60歳代	2 1.5	10 7.7	6 4.6	94 72.3	18 13.8	130 100.0
	70歳以上	1 0.6	12 7.6	5 3.2	84 53.5	55 35.0	157 100.0
	不明・無回答	1 5.0	0 0.0	1 5.0	9 45.0	9 45.0	20 100.0

(6)職場の研修

		とて も 学 習 し た こ と が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 学 習 し た こ と が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 学 習 し た こ と が あ る 、 理 解 が 深 ま ら な か っ た	お ぼ え て い な い 、 学 習 し た こ と は な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		25 3.7	57 8.3	38 5.6	467 68.4	96 14.1	683 100.0
性別	男性	10 3.6	28 10.1	23 8.3	182 65.5	35 12.6	278 100.0
	女性	15 3.9	28 7.3	13 3.4	272 71.0	55 14.4	383 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	3 100.0
	不明・無回答	0 0.0	1 5.3	1 5.3	11 57.9	6 31.6	19 100.0
年齢別	10歳代	0 0.0	0 0.0	1 12.5	7 87.5	0 0.0	8 100.0
	20歳代	3 5.9	4 7.8	3 5.9	39 76.5	2 3.9	51 100.0
	30歳代	6 7.4	3 3.7	5 6.2	66 81.5	1 1.2	81 100.0
	40歳代	4 3.5	15 13.0	5 4.3	83 72.2	8 7.0	115 100.0
	50歳代	3 2.5	11 9.1	6 5.0	92 76.0	9 7.4	121 100.0
	60歳代	6 4.6	11 8.5	7 5.4	91 70.0	15 11.5	130 100.0
	70歳以上	3 1.9	12 7.6	10 6.4	79 50.3	53 33.8	157 100.0
	不明・無回答	0 0.0	1 5.0	1 5.0	10 50.0	8 40.0	20 100.0

(7) PTAや民間団体主催の研修

		と学習したことがある、 理解が深まった	学習が深まったがある、 理解が深まらなかった	学習が深まらなかった、 理解が深まらなかった	おぼえていない、 学習したことはない	不明・無回答	合計
市全体		6 0.9	37 5.4	26 3.8	506 74.1	108 15.8	683 100.0
性別	男性	2 0.7	11 4.0	10 3.6	211 75.9	44 15.8	278 100.0
	女性	4 1.0	25 6.5	15 3.9	281 73.4	58 15.1	383 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	3 100.0
	不明・無回答	0 0.0	1 5.3	1 5.3	11 57.9	6 31.6	19 100.0
年齢別	10歳代	0 0.0	0 0.0	1 12.5	7 87.5	0 0.0	8 100.0
	20歳代	0 0.0	3 5.9	0 0.0	46 90.2	2 3.9	51 100.0
	30歳代	0 0.0	1 1.2	2 2.5	77 95.1	1 1.2	81 100.0
	40歳代	1 0.9	4 3.5	2 1.7	101 87.8	7 6.1	115 100.0
	50歳代	0 0.0	8 6.6	8 6.6	92 76.0	13 10.7	121 100.0
	60歳代	2 1.5	8 6.2	8 6.2	94 72.3	18 13.8	130 100.0
	70歳以上	2 1.3	12 7.6	4 2.5	79 50.3	60 38.2	157 100.0
	不明・無回答	1 5.0	1 5.0	1 5.0	10 50.0	7 35.0	20 100.0

(8)書籍などを読んだ

		と学習したことがある、 理解が深まった	学習が深まったがある、 理解が深まらなかった	おぼえていない、 学習したことはない	不明・無回答	合計	
市全体		30 4.4	111 16.3	37 5.4	408 59.7	97 14.2	683 100.0
性別	男性	21 7.6	44 15.8	17 6.1	160 57.6	36 12.9	278 100.0
	女性	8 2.1	65 17.0	18 4.7	237 61.9	55 14.4	383 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	3 100.0
	不明・無回答	1 5.3	2 10.5	2 10.5	8 42.1	6 31.6	19 100.0
年齢別	10歳代	0 0.0	2 25.0	0 0.0	6 75.0	0 0.0	8 100.0
	20歳代	0 0.0	8 15.7	2 3.9	39 76.5	2 3.9	51 100.0
	30歳代	2 2.5	8 9.9	4 4.9	65 80.2	2 2.5	81 100.0
	40歳代	4 3.5	20 17.4	2 1.7	82 71.3	7 6.1	115 100.0
	50歳代	7 5.8	17 14.0	9 7.4	77 63.6	11 9.1	121 100.0
	60歳代	7 5.4	28 21.5	10 7.7	69 53.1	16 12.3	130 100.0
	70歳以上	9 5.7	26 16.6	8 5.1	63 40.1	51 32.5	157 100.0
	不明・無回答	1 5.0	2 10.0	2 10.0	7 35.0	8 40.0	20 100.0

(9) 行政が作成した資料、広報、ホームページなどを見た

		と学習したことがある、 理解が深まった	学習が深まったがある、 理解が深まらなかった	おぼえていない、 学習したことはない	不明・無回答	合計	
市全体		8 1.2	73 10.7	49 7.2	453 66.3	100 14.6	683 100.0
性別	男性	3 1.1	36 12.9	24 8.6	179 64.4	36 12.9	278 100.0
	女性	4 1.0	36 9.4	22 5.7	264 68.9	57 14.9	383 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	3 100.0
	不明・無回答	1 5.3	1 5.3	3 15.8	7 36.8	7 36.8	19 100.0
年齢別	10歳代	0 0.0	0 0.0	1 12.5	7 87.5	0 0.0	8 100.0
	20歳代	0 0.0	4 7.8	3 5.9	42 82.4	2 3.9	51 100.0
	30歳代	1 1.2	4 4.9	3 3.7	71 87.7	2 2.5	81 100.0
	40歳代	0 0.0	8 7.0	7 6.1	92 80.0	8 7.0	115 100.0
	50歳代	2 1.7	12 9.9	11 9.1	85 70.2	11 9.1	121 100.0
	60歳代	1 0.8	20 15.4	15 11.5	80 61.5	14 10.8	130 100.0
	70歳以上	3 1.9	24 15.3	6 3.8	70 44.6	54 34.4	157 100.0
	不明・無回答	1 5.0	1 5.0	3 15.0	6 30.0	9 45.0	20 100.0

(10) テレビ番組や映画などを観た

		と学習したことがある、 理解が深まった	学習が深まったがある、 理解が深まらなかった	おぼえていない、 学習したことはない	不明・無回答	合計	
市全体		41 6.0	170 24.9	68 10.0	312 45.7	92 13.5	683 100.0
性別	男性	17 6.1	72 25.9	24 8.6	129 46.4	36 12.9	278 100.0
	女性	23 6.0	93 24.3	41 10.7	177 46.2	49 12.8	383 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	3 100.0
	不明・無回答	1 5.3	5 26.3	2 10.5	4 21.1	7 36.8	19 100.0
年齢別	10歳代	2 25.0	1 12.5	0 0.0	5 62.5	0 0.0	8 100.0
	20歳代	1 2.0	13 25.5	6 11.8	29 56.9	2 3.9	51 100.0
	30歳代	5 6.2	17 21.0	7 8.6	51 63.0	1 1.2	81 100.0
	40歳代	7 6.1	29 25.2	10 8.7	62 53.9	7 6.1	115 100.0
	50歳代	13 10.7	35 28.9	16 13.2	47 38.8	10 8.3	121 100.0
	60歳代	6 4.6	41 31.5	16 12.3	53 40.8	14 10.8	130 100.0
	70歳以上	6 3.8	28 17.8	11 7.0	62 39.5	50 31.8	157 100.0
	不明・無回答	1 5.0	6 30.0	2 10.0	3 15.0	8 40.0	20 100.0

(11) 同和地区内の人との交流などを通じて、
同和問題について学んだ

(12)その他

		とても理解が深まった	理解が深まった	理解が深まらなかった	おぼえていない	不明・無回答	合計			とても理解が深まった	理解が深まった	理解が深まらなかった	おぼえていない	不明・無回答	合計
市全体		27	55	24	477	100	683	15	12	7	261	388	683		
		4.0	8.1	3.5	69.8	14.6	100.0	2.2	1.8	1.0	38.2	56.8	100.0		
性別	男性	13	23	12	189	41	278	6	3	0	108	161	278		
	女性	4.7	8.3	4.3	68.0	14.7	100.0	2.2	1.1	0.0	38.8	57.9	100.0		
	その他、回答したくない	13	30	10	277	53	383	9	8	7	147	212	383		
	不明・無回答	3.4	7.8	2.6	72.3	13.8	100.0	2.3	2.1	1.8	38.4	55.4	100.0		
年齢別	10歳代	0	0	0	3	0	3	0	0	0	2	1	3		
	20歳代	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	100.0		
	30歳代	1	2	2	8	6	19	0	1	0	4	14	19		
	40歳代	5.3	10.5	10.5	42.1	31.6	100.0	0.0	5.3	0.0	21.1	73.7	100.0		
	50歳代	1	0	1	6	0	8	0	0	0	7	1	8		
	60歳代	12.5	0.0	12.5	75.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	87.5	12.5	100.0		
	70歳以上	1	3	1	44	2	51	2	0	1	17	31	51		
	不明・無回答	2.0	5.9	2.0	86.3	3.9	100.0	3.9	0.0	2.0	33.3	60.8	100.0		
	10歳代	4	4	1	71	1	81	2	0	2	32	45	81		
	20歳代	4.9	4.9	1.2	87.7	1.2	100.0	2.5	0.0	2.5	39.5	55.6	100.0		
	30歳代	5	14	2	88	6	115	1	4	1	63	46	115		
	40歳代	4.3	12.2	1.7	76.5	5.2	100.0	0.9	3.5	0.9	54.8	40.0	100.0		
50歳代	3	11	9	86	12	121	2	2	1	52	64	121			
60歳代	2.5	9.1	7.4	71.1	9.9	100.0	1.7	1.7	0.8	43.0	52.9	100.0			
70歳以上	5	11	3	96	15	130	4	1	1	48	76	130			
不明・無回答	3.8	8.5	2.3	73.8	11.5	100.0	3.1	0.8	0.8	36.9	58.5	100.0			
	6	10	5	79	57	157	4	4	1	39	109	157			
	3.8	6.4	3.2	50.3	36.3	100.0	2.5	2.5	0.6	24.8	69.4	100.0			
	2	2	2	7	7	20	0	1	0	3	16	20			
	10.0	10.0	10.0	35.0	35.0	100.0	0.0	5.0	0.0	15.0	80.0	100.0			

職業別でみると、「学習したことがある」と答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」では『(2)中学校での授業』で46.3%、「民間正規雇用」では『(1)小学校での授業』で50.9%、「公務員、教員」では『(6)職場の研修』で87.5%、「非正規雇用」「家事専業、学生、無職」では『(10)テレビ番組や映画などを観た』であり、数値は各々50.4%、33.2%となっている。

一方で「とても理解が深まった」「理解が深まった」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業、学生、無職」では『(10)テレビ番組や映画などを観た』であり、数値は各々30.0%、35.4%、33.0%、26.0%となっており、「公務員、教員」では『(6)職場の研修』で75.0%となっている。【表3 - 2 - 3】

【表3-2-3 職業別 人権問題に関する学習経験】

(1)小学校での授業

(上段:人, 下段:%)

	と学習したことがある、 理解が深まった	学習が深まった	理解が深まらなかった	学習したことはない、 おぼえていない	不明・無回答	合計
市全体	22 3.2	129 18.9	91 13.3	370 54.2	71 10.4	683 100.0
自営業	4 5.0	14 17.5	18 22.5	38 47.5	6 7.5	80 100.0
民間正規雇用	5 2.9	50 28.6	34 19.4	77 44.0	9 5.1	175 100.0
公務員、教員	2 8.3	7 29.2	5 20.8	8 33.3	2 8.3	24 100.0
非正規雇用	5 4.3	28 24.3	12 10.4	62 53.9	8 7.0	115 100.0
家事専業、学生、無職	5 1.8	30 10.8	22 7.9	176 63.5	44 15.9	277 100.0
不明・無回答	1 8.3	0 0.0	0 0.0	9 75.0	2 16.7	12 100.0

(2)中学校での授業

(上段:人, 下段:%)

	と学習したことがある、 理解が深まった	学習が深まった	理解が深まらなかった	学習したことはない、 おぼえていない	不明・無回答	合計
市全体	24 3.5	142 20.8	95 13.9	355 52.0	67 9.8	683 100.0
自営業	4 5.0	17 21.3	16 20.0	37 46.3	6 7.5	80 100.0
民間正規雇用	10 5.7	45 25.7	27 15.4	87 49.7	6 3.4	175 100.0
公務員、教員	0 0.0	11 45.8	5 20.8	6 25.0	2 8.3	24 100.0
非正規雇用	6 5.2	26 22.6	16 13.9	61 53.0	6 5.2	115 100.0
家事専業、学生、無職	4 1.4	42 15.2	26 9.4	161 58.1	44 15.9	277 100.0
不明・無回答	0 0.0	1 8.3	5 41.7	3 25.0	3 25.0	12 100.0

(3)高等学校での授業

	と学習したことがある、 理解が深まった	学習が深まった	理解が深まらなかった	学習したことはない、 おぼえていない	不明・無回答	合計
市全体	16 2.3	82 12.0	61 8.9	429 62.8	95 13.9	683 100.0
自営業	4 5.0	12 15.0	9 11.3	46 57.5	9 11.3	80 100.0
民間正規雇用	4 2.3	22 12.6	23 13.1	114 65.1	12 6.9	175 100.0
公務員、教員	0 0.0	8 33.3	1 4.2	13 54.2	2 8.3	24 100.0
非正規雇用	3 2.6	16 13.9	11 9.6	77 67.0	8 7.0	115 100.0
家事専業、学生、無職	4 1.4	23 8.3	14 5.1	175 63.2	61 22.0	277 100.0
不明・無回答	1 8.3	1 8.3	3 25.0	4 33.3	3 25.0	12 100.0

(4)大学、大学院での授業、講義

	と学習したことがある、 理解が深まった	学習が深まった	理解が深まらなかった	学習したことはない、 おぼえていない	不明・無回答	合計
市全体	12 1.8	37 5.4	24 3.5	481 70.4	129 18.9	683 100.0
自営業	2 2.5	5 6.3	6 7.5	51 63.8	16 20.0	80 100.0
民間正規雇用	4 2.3	16 9.1	9 5.1	134 76.6	12 6.9	175 100.0
公務員、教員	2 8.3	5 20.8	1 4.2	13 54.2	3 12.5	24 100.0
非正規雇用	2 1.7	3 2.6	5 4.3	89 77.4	16 13.9	115 100.0
家事専業、学生、無職	2 0.7	8 2.9	3 1.1	187 67.5	77 27.8	277 100.0
不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 58.3	5 41.7	12 100.0

(5)市民対象の講座など

	と学習したことがある、 理解が深まった	学習が深まった	理解が深まらなかった	学習したことはない、 おぼえていない	不明・無回答	合計
市全体	5 0.7	33 4.8	20 2.9	518 75.8	107 15.7	683 100.0
自営業	0 0.0	3 3.8	1 1.3	64 80.0	12 15.0	80 100.0
民間正規雇用	0 0.0	7 4.0	5 2.9	150 85.7	13 7.4	175 100.0
公務員、教員	1 4.2	1 4.2	0 0.0	20 83.3	2 8.3	24 100.0
非正規雇用	2 1.7	5 4.3	7 6.1	93 80.9	8 7.0	115 100.0
家事専業、学生、無職	2 0.7	17 6.1	6 2.2	185 66.8	67 24.2	277 100.0
不明・無回答	0 0.0	0 0.0	1 8.3	6 50.0	5 41.7	12 100.0

(6)職場の研修

	と学習したことがある、 理解が深まった	学習が深まった	理解が深まらなかった	学習したことはない、 おぼえていない	不明・無回答	合計
市全体	25 3.7	57 8.3	38 5.6	467 68.4	96 14.1	683 100.0
自営業	1 1.3	3 3.8	3 3.8	61 76.3	12 15.0	80 100.0
民間正規雇用	9 5.1	17 9.7	8 4.6	130 74.3	11 6.3	175 100.0
公務員、教員	7 29.2	11 45.8	3 12.5	3 12.5	0 0.0	24 100.0
非正規雇用	4 3.5	6 5.2	9 7.8	89 77.4	7 6.1	115 100.0
家事専業、学生、無職	4 1.4	19 6.9	15 5.4	176 63.5	63 22.7	277 100.0
不明・無回答	0 0.0	1 8.3	0 0.0	8 66.7	3 25.0	12 100.0

(7) PTAや民間団体主催の研修

	ととも 学習 した こと が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 解 が 深 ま っ た こ と が あ る 、	理 解 が 深 ま ら な か っ た こ と が あ る 、	お ぼ え て い な い こ と は あ り ま せ ん	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	6 0.9	37 5.4	26 3.8	506 74.1	108 15.8	683 100.0
自営業	0 0.0	5 6.3	1 1.3	61 76.3	13 16.3	80 100.0
民間正規雇用	0 0.0	8 4.6	6 3.4	149 85.1	12 6.9	175 100.0
公務員、教員	1 4.2	1 4.2	1 4.2	19 79.2	2 8.3	24 100.0
非正規雇用	1 0.9	7 6.1	10 8.7	90 78.3	7 6.1	115 100.0
家事専業、学生、無職	4 1.4	16 5.8	7 2.5	180 65.0	70 25.3	277 100.0
不明・無回答	0 0.0	0 0.0	1 8.3	7 58.3	4 33.3	12 100.0

(8)書籍などを読んだ

	ととも 学習 した こと が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 解 が 深 ま っ た こ と が あ る 、	理 解 が 深 ま ら な か っ た こ と が あ る 、	お ぼ え て い な い こ と は あ り ま せ ん	不 明 ・ 無 回 答	合 計
	30 4.4	111 16.3	37 5.4	408 59.7	97 14.2	683 100.0
自営業	5 6.3	9 11.3	5 6.3	51 63.8	10 12.5	80 100.0
民間正規雇用	12 6.9	27 15.4	7 4.0	118 67.4	11 6.3	175 100.0
公務員、教員	1 4.2	7 29.2	1 4.2	12 50.0	3 12.5	24 100.0
非正規雇用	3 2.6	24 20.9	9 7.8	72 62.6	7 6.1	115 100.0
家事専業、学生、無職	9 3.2	42 15.2	13 4.7	151 54.5	62 22.4	277 100.0
不明・無回答	0 0.0	2 16.7	2 16.7	4 33.3	4 33.3	12 100.0

(9) 行政が作成した資料、広報、ホームページなどを見た

	ととも 学習 した こと が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 解 が 深 ま っ た こ と が あ る 、	理 解 が 深 ま ら な か っ た こ と が あ る 、	お ぼ え て い な い こ と は あ り ま せ ん	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	8 1.2	73 10.7	49 7.2	453 66.3	100 14.6	683 100.0
自営業	1 1.3	6 7.5	5 6.3	54 67.5	14 17.5	80 100.0
民間正規雇用	3 1.7	14 8.0	13 7.4	135 77.1	10 5.7	175 100.0
公務員、教員	0 0.0	9 37.5	2 8.3	11 45.8	2 8.3	24 100.0
非正規雇用	1 0.9	13 11.3	14 12.2	82 71.3	5 4.3	115 100.0
家事専業、学生、無職	3 1.1	30 10.8	13 4.7	167 60.3	64 23.1	277 100.0
不明・無回答	0 0.0	1 8.3	2 16.7	4 33.3	5 41.7	12 100.0

(10) テレビ番組や映画などを観た

	ととも 学習 した こと が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 解 が 深 ま っ た こ と が あ る 、	理 解 が 深 ま ら な か っ た こ と が あ る 、	お ぼ え て い な い こ と は あ り ま せ ん	不 明 ・ 無 回 答	合 計
	41 6.0	170 24.9	68 10.0	312 45.7	92 13.5	683 100.0
自営業	5 6.3	19 23.8	9 11.3	36 45.0	11 13.8	80 100.0
民間正規雇用	14 8.0	48 27.4	17 9.7	86 49.1	10 5.7	175 100.0
公務員、教員	2 8.3	9 37.5	0 0.0	12 50.0	1 4.2	24 100.0
非正規雇用	6 5.2	32 27.8	20 17.4	51 44.3	6 5.2	115 100.0
家事専業、学生、無職	13 4.7	59 21.3	20 7.2	127 45.8	58 20.9	277 100.0
不明・無回答	1 8.3	3 25.0	2 16.7	0 0.0	6 50.0	12 100.0

(11) 同和地区内の人との交流などを通じて、同和問題について学んだ

	ととも 学習 した こと が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 解 が 深 ま っ た こ と が あ る 、	理 解 が 深 ま ら な か っ た こ と が あ る 、	お ぼ え て い な い こ と は あ り ま せ ん	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	27 4.0	55 8.1	24 3.5	477 69.8	100 14.6	683 100.0
自営業	2 2.5	7 8.8	2 2.5	57 71.3	12 15.0	80 100.0
民間正規雇用	9 5.1	10 5.7	5 2.9	140 80.0	11 6.3	175 100.0
公務員、教員	2 8.3	3 12.5	1 4.2	16 66.7	2 8.3	24 100.0
非正規雇用	5 4.3	13 11.3	7 6.1	84 73.0	6 5.2	115 100.0
家事専業、学生、無職	7 2.5	20 7.2	8 2.9	177 63.9	65 23.5	277 100.0
不明・無回答	2 16.7	2 16.7	1 8.3	3 25.0	4 33.3	12 100.0

(12) その他

	ととも 学習 した こと が あ る 、 理 解 が 深 ま っ た	理 解 が 深 ま っ た こ と が あ る 、	理 解 が 深 ま ら な か っ た こ と が あ る 、	お ぼ え て い な い こ と は あ り ま せ ん	不 明 ・ 無 回 答	合 計
	15 2.2	12 1.8	7 1.0	261 38.2	388 56.8	683 100.0
自営業	2 2.5	0 0.0	0 0.0	29 36.3	49 61.3	80 100.0
民間正規雇用	3 1.7	3 1.7	1 0.6	78 44.6	90 51.4	175 100.0
公務員、教員	1 4.2	0 0.0	0 0.0	8 33.3	15 62.5	24 100.0
非正規雇用	6 5.2	0 0.0	3 2.6	42 36.5	64 55.7	115 100.0
家事専業、学生、無職	3 1.1	9 3.2	3 1.1	102 36.8	160 57.8	277 100.0
不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 16.7	10 83.3	12 100.0

学歴別でみると、「学習したことがある」と答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」「高校卒」では『(10)テレビ番組や映画などを観た』であり、数値は各々38.6%、39.8%となっており、「短大卒」では『(1)小学校での授業』で51.0%、「大学卒」では『(2)中学校での授業』で53.4%となっている。

一方で「とても理解が深まった」「理解が深まった」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、「中学卒」「高校卒」「大学卒」では『(10)テレビ番組や映画などを観た』であり、数値は各々28.4%、26.6%、36.5%となっており、「短大卒」では『(1)小学校での授業』で38.5%となっている。

【表3 - 2 - 4】

【表3 - 2 - 4 学歴別 人権問題に関する学習経験】

(1)小学校での授業

(2)中学校での授業

学歴別	(上段:人、下段:%)					
	と学習したことが深まった	学習が深まった	学習が深まらなかった	おぼえていない	不明・無回答	合計
市全体	22 3.2	129 18.9	91 13.3	370 54.2	71 10.4	683 100.0
1.小学校、旧制小学校、旧制高等小学校	2 2.3	8 9.1	4 4.5	52 59.1	22 25.0	88 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	8 3.3	22 9.1	34 14.1	146 60.6	31 12.9	241 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	4 2.8	51 35.7	18 12.6	63 44.1	7 4.9	143 100.0
4.大学、大学院	8 4.2	46 24.3	34 18.0	94 49.7	7 3.7	189 100.0
5.その他	0 0.0	1 14.3	1 14.3	4 57.1	1 14.3	7 100.0
不明・無回答	0 0.0	1 6.7	0 0.0	11 73.3	3 20.0	15 100.0

学歴別	(上段:人、下段:%)					
	と学習したことが深まった	学習が深まった	学習が深まらなかった	おぼえていない	不明・無回答	合計
市全体	24 3.5	142 20.8	95 13.9	355 52.0	67 9.8	683 100.0
1.小学校、旧制小学校、旧制高等小学校	2 2.3	7 8.0	8 9.1	49 55.7	22 25.0	88 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	7 2.9	40 16.6	33 13.7	137 56.8	24 10.0	241 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	6 4.2	35 24.5	13 9.1	80 55.9	9 6.3	143 100.0
4.大学、大学院	9 4.8	55 29.1	37 19.6	81 42.9	7 3.7	189 100.0
5.その他	0 0.0	2 28.6	1 14.3	3 42.9	1 14.3	7 100.0
不明・無回答	0 0.0	3 20.0	3 20.0	5 33.3	4 26.7	15 100.0

(3)高等学校での授業

(4)大学、大学院での授業、講義

学歴別	(上段:人、下段:%)					
	と学習したことが深まった	学習が深まった	学習が深まらなかった	おぼえていない	不明・無回答	合計
市全体	16 2.3	82 12.0	61 8.9	429 62.8	95 13.9	683 100.0
1.小学校、旧制小学校、旧制高等小学校	0 0.0	2 2.3	2 2.3	43 48.9	41 46.6	88 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	6 2.5	20 8.3	31 12.9	153 63.5	31 12.9	241 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	4 2.8	20 14.0	4 2.8	105 73.4	10 7.0	143 100.0
4.大学、大学院	4 2.1	38 20.1	22 11.6	117 61.9	8 4.2	189 100.0
5.その他	0 0.0	1 14.3	0 0.0	5 71.4	1 14.3	7 100.0
不明・無回答	2 13.3	1 6.7	2 13.3	6 40.0	4 26.7	15 100.0

学歴別	(上段:人、下段:%)					
	と学習したことが深まった	学習が深まった	学習が深まらなかった	おぼえていない	不明・無回答	合計
市全体	12 1.8	37 5.4	24 3.5	481 70.4	129 18.9	683 100.0
1.小学校、旧制小学校、旧制高等小学校	0 0.0	0 0.0	0 0.0	43 48.9	45 51.1	88 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	0 0.0	3 1.2	7 2.9	177 73.4	54 22.4	241 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	2 1.4	6 4.2	2 1.4	117 81.8	16 11.2	143 100.0
4.大学、大学院	9 4.8	28 14.8	15 7.9	130 68.8	7 3.7	189 100.0
5.その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 85.7	1 14.3	7 100.0
不明・無回答	1 6.7	0 0.0	0 0.0	8 53.3	6 40.0	15 100.0

(5)市民対象の講座など

		と学習したことがある、 理解が深まった	学習したことがある、 理解が深まった	学習したことがある、 理解が深まった	おぼえていない、 学習したことはない	不明・無回答	合計
市全体		5 0.7	33 4.8	20 2.9	518 75.8	107 15.7	683 100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	0 0.0	4 4.5	1 1.1	48 54.5	35 39.8	88 100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	3 1.2	14 5.8	13 5.4	169 70.1	42 17.4	241 100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	1 0.7	3 2.1	1 0.7	124 86.7	14 9.8	143 100.0
	4.大学、大学院	1 0.5	12 6.3	3 1.6	165 87.3	8 4.2	189 100.0
	5.その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 71.4	2 28.6	7 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	2 13.3	7 46.7	6 40.0	15 100.0

(6)職場の研修

		と学習したことがある、 理解が深まった	学習したことがある、 理解が深まった	学習したことがある、 理解が深まった	おぼえていない、 学習したことはない	不明・無回答	合計
市全体		25 3.7	57 8.3	38 5.6	467 68.4	96 14.1	683 100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	1 1.1	3 3.4	4 4.5	46 52.3	34 38.6	88 100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	5 2.1	21 8.7	14 5.8	164 68.0	37 15.4	241 100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	6 4.2	11 7.7	4 2.8	109 76.2	13 9.1	143 100.0
	4.大学、大学院	12 6.3	21 11.1	14 7.4	135 71.4	7 3.7	189 100.0
	5.その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 71.4	2 28.6	7 100.0
	不明・無回答	1 0.7	1 1.4	2 2.8	8 53.3	3 20.0	15 100.0

(7) PTAや民間団体主催の研修

		と学習したことがある、 理解が深まった	学習したことがある、 理解が深まった	学習したことがある、 理解が深まった	おぼえていない、 学習したことはない	不明・無回答	合計
市全体		6 0.9	37 5.4	26 3.8	506 74.1	108 15.8	683 100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	0 0.0	3 3.4	2 2.3	48 54.5	35 39.8	88 100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	2 0.8	15 6.2	13 5.4	167 69.3	44 18.3	241 100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	2 1.4	9 6.3	5 3.5	115 80.4	12 8.4	143 100.0
	4.大学、大学院	1 0.5	9 4.8	5 2.6	164 86.8	10 5.3	189 100.0
	5.その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 71.4	2 28.6	7 100.0
	不明・無回答	1 0.7	1 1.4	1 1.4	7 46.7	5 33.3	15 100.0

(8)書籍などを読んだ

		と学習したことがある、 理解が深まった	学習したことがある、 理解が深まった	学習したことがある、 理解が深まった	おぼえていない、 学習したことはない	不明・無回答	合計
市全体		30 4.4	111 16.3	37 5.4	408 59.7	97 14.2	683 100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	3 3.4	8 9.1	3 3.4	42 47.7	32 36.4	88 100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	10 4.1	31 12.9	18 7.5	144 59.8	38 15.8	241 100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	3 2.1	26 18.2	6 4.2	95 66.4	13 9.1	143 100.0
	4.大学、大学院	14 7.4	42 22.2	8 4.2	118 62.4	7 3.7	189 100.0
	5.その他	0 0.0	2 28.6	0 0.0	3 42.9	2 28.6	7 100.0
	不明・無回答	0 0.0	2 13.3	2 13.3	6 40.0	5 33.3	15 100.0

(9) 行政が作成した資料、広報、ホームページなどを見た

		と学習したことがある、 理解が深まった	学習したことがある、 理解が深まった	学習したことがある、 理解が深まった	おぼえていない、 学習したことはない	不明・無回答	合計
市全体		8 1.2	73 10.7	49 7.2	453 66.3	100 14.6	683 100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	0 0.0	10 11.4	3 3.4	40 45.5	35 39.8	88 100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	4 1.7	21 8.7	21 8.7	162 67.2	33 13.7	241 100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	1 0.7	13 9.1	10 7.0	104 72.7	15 10.5	143 100.0
	4.大学、大学院	2 1.1	27 14.3	13 6.9	138 73.0	9 4.8	189 100.0
	5.その他	0 0.0	1 14.3	0 0.0	4 57.1	2 28.6	7 100.0
	不明・無回答	1 0.7	1 6.7	2 13.3	5 33.3	6 40.0	15 100.0

(10) テレビ番組や映画などを観た

		と学習したことがある、 理解が深まった	学習したことがある、 理解が深まった	学習したことがある、 理解が深まった	おぼえていない、 学習したことはない	不明・無回答	合計
市全体		41 6.0	170 24.9	68 10.0	312 45.7	92 13.5	683 100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	4 4.5	21 23.9	9 10.2	27 30.7	27 30.7	88 100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	12 5.0	52 21.6	32 13.3	111 46.1	34 14.1	241 100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	11 7.7	37 25.9	12 8.4	68 47.6	15 10.5	143 100.0
	4.大学、大学院	13 6.9	56 29.6	13 6.9	100 52.9	7 3.7	189 100.0
	5.その他	1 0.0	1 14.3	0 0.0	3 42.9	2 28.6	7 100.0
	不明・無回答	0 0.0	3 20.0	2 13.3	3 20.0	7 46.7	15 100.0

(11) 同和地区内の人との交流などを通じて、
同和問題について学んだ

(12)その他

		と学習したことがある、 理解が深まった	学習が深まったことがある、 理解が深まった	学習が深まらなかつた、 理解が深まらなかつた	おぼえていない、 学習したことはない	不明・無回答	合計
市全体		27	55	24	477	100	683
		4.0	8.1	3.5	69.8	14.6	100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	2	6	1	43	36	88
		2.3	6.8	1.1	48.9	40.9	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	7	15	14	166	39	241
		2.9	6.2	5.8	68.9	16.2	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	3	17	6	108	9	143
		2.1	11.9	4.2	75.5	6.3	100.0
	4.大学、大学院	12	14	2	151	10	189
		6.3	7.4	1.1	79.9	5.3	100.0
	5.その他	0	1	0	4	2	7
		0.0	14.3	0.0	57.1	28.6	100.0
不明・無回答		3	2	1	5	4	15
		20.0	13.3	6.7	33.3	26.7	100.0

		と学習したことがある、 理解が深まった	学習が深まったことがある、 理解が深まった	学習が深まらなかつた、 理解が深まらなかつた	おぼえていない、 学習したことはない	不明・無回答	合計
市全体		15	12	7	261	388	683
		2.2	1.8	1.0	38.2	56.8	100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	1	2	1	19	65	88
		1.1	2.3	1.1	21.6	73.9	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	6	5	3	104	123	241
		2.5	2.1	1.2	43.2	51.0	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	1	3	2	61	76	143
		0.7	2.1	1.4	42.7	53.1	100.0
	4.大学、大学院	6	1	1	72	109	189
		3.2	0.5	0.5	38.1	57.7	100.0
	5.その他	0	1	0	4	2	7
		0.0	14.3	0.0	57.1	28.6	100.0
不明・無回答		1	0	0	1	13	15
		6.7	0.0	0.0	6.7	86.7	100.0

3 - 3 . 同和問題に関する差別意識や偏見に関する現状

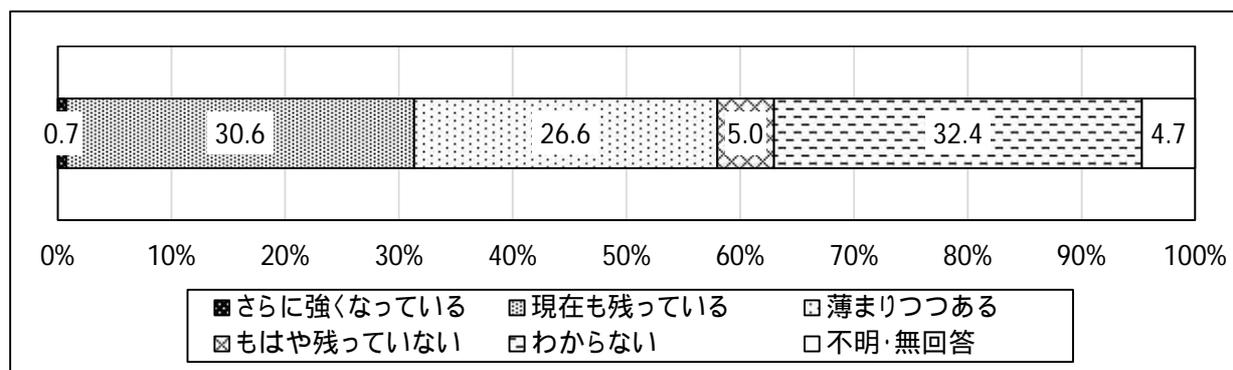
(1) 同和問題に関する差別意識の現状

問9 あなたは、大阪市において、同和問題に関する差別意識や偏見が、現在も残っていると思いますか。(は1つ)

【表3 - 3 - 1 - 1 同和問題に関する差別意識の現状】

	(上段:人、下段:%)						
	なさら つてに い強 るく	い現 る在 も残 つて	る薄 まり つつ あ	いも は い や 残 つて	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	5	209	182	34	221	32	683
	0.7	30.6	26.6	5.0	32.4	4.7	100.0

【図3 - 3 - 1 同和問題に関する差別意識の現状】



同和問題に関する差別意識や偏見について尋ねたところ、「わからない」と答えた人の割合が32.4%と最も高く、次いで「現在も残っている」が30.6%、「薄まりつつある」が26.6%となっている。

性別で見ると、男性では「薄まりつつある」が32.4%と最も高く、次いで「現在も残っている」が29.1%、「わからない」が25.5%となっている。

女性では「わからない」が37.3%と最も高く、次いで「現在も残っている」が32.1%、「薄まりつつある」が22.7%となっている。

年齢別で見ると、答えた人の割合が最も高いのは、10歳代、20歳代、70歳以上では「わからない」であり、数値は各々50.0%、49.0%、36.3%となっており、30歳代、60歳代では「現在も残っている」と「わからない」で、ともに各々35.8%、31.5%となっている。また、40歳代、50歳代では「現在も残っている」であり、各々33.9%、36.4%となっている。【表3 - 3 - 1 - 2】

【表3 - 3 - 1 - 2 性別・年齢別 同和問題に関する差別意識の現状】

(上段:人、下段:%)

		なさら ずに強 くなる	いまも 残っ て	薄ま りつ つあ る	いま は残 って ない	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		5 0.7	209 30.6	182 26.6	34 5.0	221 32.4	32 4.7	683 100.0
性別	男性	3 1.1	81 29.1	90 32.4	19 6.8	71 25.5	14 5.0	278 100.0
	女性	2 0.5	123 32.1	87 22.7	15 3.9	143 37.3	13 3.4	383 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	3 100.0
	不明・無回答	0 0.0	4 21.1	4 21.1	0 0.0	7 36.8	4 21.1	19 100.0
	不明・無回答	0 0.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	4 50.0	0 0.0	8 100.0
年齢別	10歳代	1 2.0	18 35.3	6 11.8	1 2.0	25 49.0	0 0.0	51 100.0
	20歳代	0 0.0	29 35.8	19 23.5	4 4.9	29 35.8	0 0.0	81 100.0
	30歳代	1 0.9	39 33.9	31 27.0	4 3.5	34 29.6	6 5.2	115 100.0
	40歳代	2 1.7	44 36.4	41 33.9	7 5.8	24 19.8	3 2.5	121 100.0
	50歳代	1 0.8	41 31.5	35 26.9	8 6.2	41 31.5	4 3.1	130 100.0
	60歳代	0 0.0	30 19.1	45 28.7	10 6.4	57 36.3	15 9.6	157 100.0
	70歳以上	0 0.0	5 25.0	4 20.0	0 0.0	7 35.0	4 20.0	20 100.0
	不明・無回答	0 0.0	5 25.0	4 20.0	0 0.0	7 35.0	4 20.0	20 100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」では「現在も残っている」であり、数値は各々41.3%、32.0%となっており、「公務員、教員」では「現在も残っている」と「薄まりつつある」で、ともに37.5%となっている。また、「非正規雇用」「家事専業、学生、無職」では「わからない」であり、各々37.4%、36.5%となっている。【表3 - 3 - 1 - 3】

【表3-3-1-3 職業別 同和問題に関する差別意識の現状】

(上段:人、下段:%)

	なさら ずに強 い	現在も 残って いる	薄まり つつあ る	いも ないや 残って いる	わか らない	不明 ・無 回答	合計
市全体	5 0.7	209 30.6	182 26.6	34 5.0	221 32.4	32 4.7	683 100.0
自営業	1 1.3	33 41.3	24 30.0	4 5.0	14 17.5	4 5.0	80 100.0
民間正規雇用	1 0.6	56 32.0	47 26.9	10 5.7	55 31.4	6 3.4	175 100.0
公務員、教員	0 0.0	9 37.5	9 37.5	0 0.0	5 20.8	1 4.2	24 100.0
非正規雇用	1 0.9	36 31.3	31 27.0	4 3.5	43 37.4	0 0.0	115 100.0
家事専業、学生、無職	2 0.7	72 26.0	68 24.5	16 5.8	101 36.5	18 6.5	277 100.0
不明・無回答	0 0.0	3 25.0	3 25.0	0 0.0	3 25.0	3 25.0	12 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」「高校卒」では「わからない」であり、数値は各々34.1%、35.3%となっており、「短大卒」「大学卒」では「現在も残っている」であり、各々37.8%、34.4%となっている。【表3-3-1-4】

【表3-3-1-4 学歴別 同和問題に関する差別意識の現状】

(上段:人、下段:%)

	なさら ずに強 い	現在も 残って いる	薄まり つつあ る	いも ないや 残って いる	わか らない	不明 ・無 回答	合計	
市全体	5 0.7	209 30.6	182 26.6	34 5.0	221 32.4	32 4.7	683 100.0	
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	1 1.1	25 28.4	20 22.7	2 2.3	30 34.1	10 11.4	88 100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	1 0.4	60 24.9	67 27.8	17 7.1	85 35.3	11 4.6	241 100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	1 0.7	54 37.8	37 25.9	4 2.8	43 30.1	4 2.8	143 100.0
	4.大学、大学院	2 1.1	65 34.4	53 28.0	9 4.8	56 29.6	4 2.1	189 100.0
	5.その他	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	3 42.9	1 14.3	7 100.0
	不明・無回答	0 0.0	3 20.0	4 26.7	2 13.3	4 26.7	2 13.3	15 100.0

(2) 同和問題に関する差別意識や偏見がなくなる理由

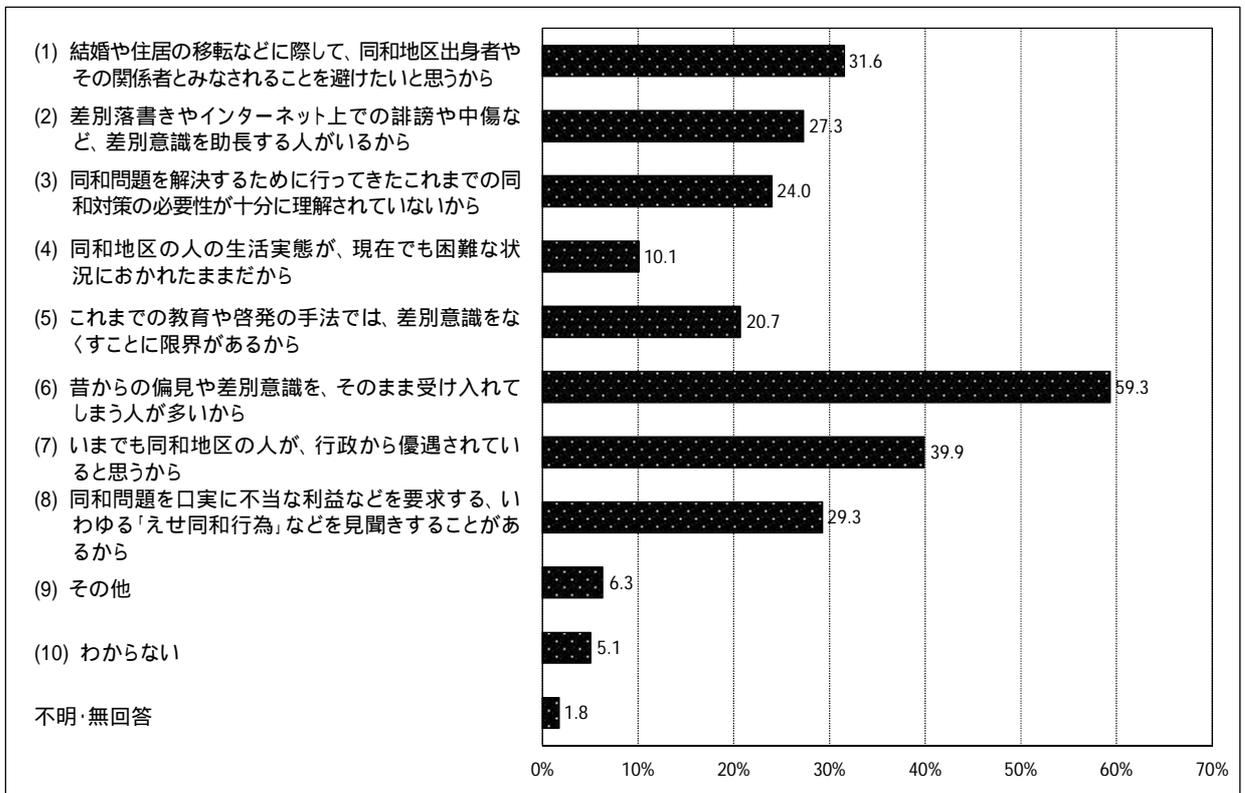
問9-1 同和問題に関する差別意識や偏見がなくなるのは、なぜだと思いますか。(はいくつでも)【問9で「1~3」のいずれかに回答された方対象】

【表3-3-2-1 同和問題に関する差別意識や偏見がなくなる理由】

(上段:人、下段:MA%)

	か ら	結 婚 や 住 居 の 移 転 な ど に 際 し て 、 同 和 地 区 出 身 者 と み な さ れ る こ と を 避 け た い と 思 う か ら	差 別 落 書 き や イ ン タ ー ネ ッ ト 上 で の 誹 謗 や 中 傷 な ど 、 差 別 意 識 を 助 長 す る 人 が い る か ら	同 和 地 区 の 人 の 生 活 実 態 が 、 現 在 で も 困 難 な 状 況 に お か れ た ま ま だ か ら	こ れ ま で の 教 育 や 啓 発 の 手 法 で は 、 差 別 意 識 を な く す こ と に 限 界 が あ る か ら	昔 か ら の 偏 見 や 差 別 意 識 を 、 そ の ま ま 受 け 入 れ て し ま う 人 が 多 い か ら	い ま で も 同 和 地 区 の 人 が 、 行 政 か ら 優 遇 さ れ て い る と 思 う か ら	同 和 問 題 を 口 実 に 不 当 な 利 益 な ど を 要 求 す る 、 い わ ゆる 「 え せ 同 和 行 為 」 な ど を 見 聞 き す こ と が あ る か ら	そ の 他	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	125	108	95	40	82	235	158	116	25	20	7	396
	31.6	27.3	24.0	10.1	20.7	59.3	39.9	29.3	6.3	5.1	1.8	100.0

【図3-3-2 同和問題に関する差別意識や偏見がなくなる理由】



MA%

問9で同和問題に関する差別意識や偏見が「さらに強くなっている」「現在も残っている」「薄まりつつある」と答えた人に対して、その理由を尋ねたところ、「6.昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」と回答した割合が59.3%と最も高く、次いで「7.いまでも同和地区の人が、行政から優遇されていると思うから」が39.9%、「1.結婚や住居の移転などに際して、同和地区出身者やその関係者とみなされることを避けたいと思うから」が31.6%となっている。

性別でみると、男性では「6.昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が61.5%と最も高く、次いで「7.いまでも同和地区の人が、行政から優遇されていると思うから」が43.7%、「8.同和問題を口実に不当な利益などを要求する、いわゆる「えせ同和行為」などを見聞きすることがあるから」が38.5%となっている。

女性では「6.昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が59.4%と最も高く、次いで「7.いまでも同和地区の人が、行政から優遇されていると思うから」が37.7%、「1.結婚や住居の移転などに際して、同和地区出身者やその関係者とみなされることを避けたいと思うから」が27.4%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、10歳代では「1.結婚や住居の移転などに際して、同和地区出身者やその関係者とみなされることを避けたいと思うから」と「3.同和問題を解決するために行ってきたこれまでの同和対策の必要性が十分に理解されていないから」で、ともに100.0%となっており、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「6.昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」であり、数値は各々84.0%、54.2%、54.9%、60.9%、54.5%、64.0%となっている。【表3 - 3 - 2 - 2】

【表3-3-2-2 性別・年齢別 同和問題に関する差別意識や偏見がなくなる理由】

(上段:人、下段:MA%)

		から	結婚や住居の移転などに際して、同和地区出身者	ど、差別意識を助長する人がいるから	同和問題の必要性が十分に理解されていないから	同和地区の人の生活実態が、現在でも困難な状況	くすこととに限界があるから	昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れて	ると思っから	いまでも同和地区の人が、行政から優遇されてい	あるから	同和問題を口実に不当な利益などを要求する、が	その他	わからない	不明・無回答	合計
市全体		125	108	95	40	82	235	158	116	25	20	7	396			
		31.6	27.3	24.0	10.1	20.7	59.3	39.9	29.3	6.3	5.1	1.8	100.0			
性別	男性	66	60	42	20	35	107	76	67	15	6	2	174			
		37.9	34.5	24.1	11.5	20.1	61.5	43.7	38.5	8.6	3.4	1.1	100.0			
	女性	58	47	52	18	45	126	80	48	10	14	5	212			
		27.4	22.2	24.5	8.5	21.2	59.4	37.7	22.6	4.7	6.6	2.4	100.0			
	その他、回答したくない	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2			
	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0				
	0	1	1	2	1	2	2	2	1	0	0	8				
	0.0	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	100.0				
年齢別	10歳代	4	3	4	3	3	3	0	0	0	0	0	4			
		100.0	75.0	100.0	75.0	75.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0			
	20歳代	11	11	7	8	6	21	5	4	3	0	0	25			
		44.0	44.0	28.0	32.0	24.0	84.0	20.0	16.0	12.0	0.0	0.0	100.0			
	30歳代	12	19	10	8	4	26	21	15	3	4	1	48			
		25.0	39.6	20.8	16.7	8.3	54.2	43.8	31.3	6.3	8.3	2.1	100.0			
	40歳代	19	19	19	1	19	39	27	26	8	2	0	71			
		26.8	26.8	26.8	1.4	26.8	54.9	38.0	36.6	11.3	2.8	0.0	100.0			
	50歳代	28	17	19	9	25	53	39	26	3	4	2	87			
		32.2	19.5	21.8	10.3	28.7	60.9	44.8	29.9	3.4	4.6	2.3	100.0			
60歳代	27	23	18	6	16	42	36	21	3	4	2	77				
	35.1	29.9	23.4	7.8	20.8	54.5	46.8	27.3	3.9	5.2	2.6	100.0				
70歳以上	24	15	17	3	8	48	28	23	5	6	2	75				
	32.0	20.0	22.7	4.0	10.7	64.0	37.3	30.7	6.7	8.0	2.7	100.0				
不明・無回答	0	1	1	2	1	3	2	1	0	0	0	9				
	0.0	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	100.0				

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべてで「6.昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」であり、「自営業」が51.7%、「民間正規雇用」が57.7%、「公務員、教員」が72.2%、「非正規雇用」が58.8%、「家事専業、学生、無職」が62.7%となっている。

【表3-3-2-3】

【表3-3-2-3 職業別 同和問題に関する差別意識や偏見がなくなる理由】

(上段:人、下段:MA%)

	か ら	結 婚 や 住 居 の 移 転 な ど に 際 し て 、 同 和 地 区 出 身 者	ど 差 別 書 き や イ ン タ ー ネ ッ ト 上 で の 誹 謗 や 中 傷 な ど	同 和 問 題 を 解 決 す る た め に 理 解 さ れ て い な い か ら	同 和 地 区 の 人 の 生 活 実 態 が 、 現 在 で も 困 難 な 状 況	こ れ ま で の 教 育 や 啓 発 の 手 法 で は 、 差 別 意 識 を な く す こ と に 限 界 が あ る か ら	昔 か ら の 偏 見 や 差 別 意 識 を 、 そ の ま ま 受 け 入 れ て し ま う 人 が 多 い か ら	い ま で も 同 和 地 区 の 人 が 、 行 政 か ら 優 遇 さ れ て い る と 思 う か ら	あ る か ら 「 え せ 同 和 行 為 」 な ど を 見 聞 き す る こ と が い や い な い と 思 う か ら	同 和 問 題 を 口 実 に 不 当 な 利 益 な ど を 要 求 す る こ と が い や い な い と 思 う か ら	そ の 他	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	125 31.6	108 27.3	95 24.0	40 10.1	82 20.7	235 59.3	158 39.9	116 29.3	25 6.3	20 5.1	7 1.8	396 100.0		
自営業	14 24.1	15 25.9	12 20.7	5 8.6	7 12.1	30 51.7	24 41.4	19 32.8	5 8.6	5 8.6	0 0.0	58 100.0		
民間正規雇用	32 30.8	36 34.6	24 23.1	11 10.6	11 25.0	26 57.7	60 43.3	45 32.7	9 8.7	3 2.9	1 1.0	104 100.0		
公務員、教員	10 55.6	12 66.7	2 11.1	5 27.8	5 27.8	13 72.2	5 27.8	6 33.3	1 5.6	0 0.0	0 0.0	18 100.0		
非正規雇用	25 36.8	12 17.6	21 30.9	4 5.9	15 22.1	40 58.8	35 51.5	23 33.8	3 4.4	2 2.9	3 4.4	68 100.0		
家事専業、学生、無職	43 30.3	33 23.2	34 23.9	15 10.6	29 20.4	89 62.7	47 33.1	32 22.5	7 4.9	10 7.0	3 2.1	142 100.0		
不明・無回答	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	3 50.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0		

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての学歴で「6.昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」であり、「中学卒」54.3%、「高校卒」64.8%、「短大卒」55.4%、「大学卒」59.2%となっている。【表3 - 3 - 2 - 4】

【表3 - 3 - 2 - 4 学歴別 同和問題に関する差別意識や偏見がなくなる理由】

		(上段:人、下段:MA%)													
		か ら	結 婚 や 住 居 の 移 転 な ど に 際 し て 、 同 和 地 区 出 身 者 と み な さ れ る こ と を 避 け たい と 思 う 者	差 別 落 書 き や イン ター ネ ッ ト 上 で の 誹 謗 や 中 傷 な ど 、 差 別 意 識 を 助 長 す る 人 が い る か ら	同 和 問 題 を 解 決 す る た め に 理 解 さ れ て い な い か ら	同 和 地 区 の 人 の 生 活 実 態 が 、 現 在 で も 困 難 な 状 況 に お か れ た ま ま だ か ら	こ れ ま で の 教 育 や 啓 発 の 手 法 で は 、 差 別 意 識 を な く す こ と に 限 界 が あ る か ら	昔 か ら の 偏 見 や 差 別 意 識 を 、 そ の ま ま 受 け 入 れ て し ま う 人 が 多 い か ら	い ま で も 同 和 地 区 の 人 が 、 行 政 か ら 優 遇 さ れ て い る と 思 う か ら	あ る か ら	同 和 問 題 を 口 実 に 不 当 な 利 益 な ど を 要 求 す る こ と が 、 わ ゆ る 一 え せ 同 和 行 為 な ど を 見 聞 き す る こ と が 、 い	そ の 他	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		125	108	95	40	82	235	158	116	25	20	7	396		
		31.6	27.3	24.0	10.1	20.7	59.3	39.9	29.3	6.3	5.1	1.8	100.0		
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	11	11	13	2	5	25	19	11	4	4	3	46		
		23.9	23.9	28.3	4.3	10.9	54.3	41.3	23.9	8.7	8.7	6.5	100.0		
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	40	29	36	4	22	83	58	35	8	5	2	128		
		31.3	22.7	28.1	3.1	17.2	64.8	45.3	27.3	6.3	3.9	1.6	100.0		
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	32	23	22	10	24	51	32	26	4	7	0	92		
		34.8	25.0	23.9	10.9	26.1	55.4	34.8	28.3	4.3	7.6	0.0	100.0		
	4.大学、大学院	39	44	23	23	31	71	44	40	7	4	2	120		
	32.5	36.7	19.2	19.2	25.8	59.2	36.7	33.3	5.8	3.3	1.7	100.0			
5.その他	0	1	0	1	0	1	1	1	1	2	0	0	3		
	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	100.0		
不明・無回答	3	0	1	0	0	4	4	3	0	0	0	7			
	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	57.1	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0	100.0			

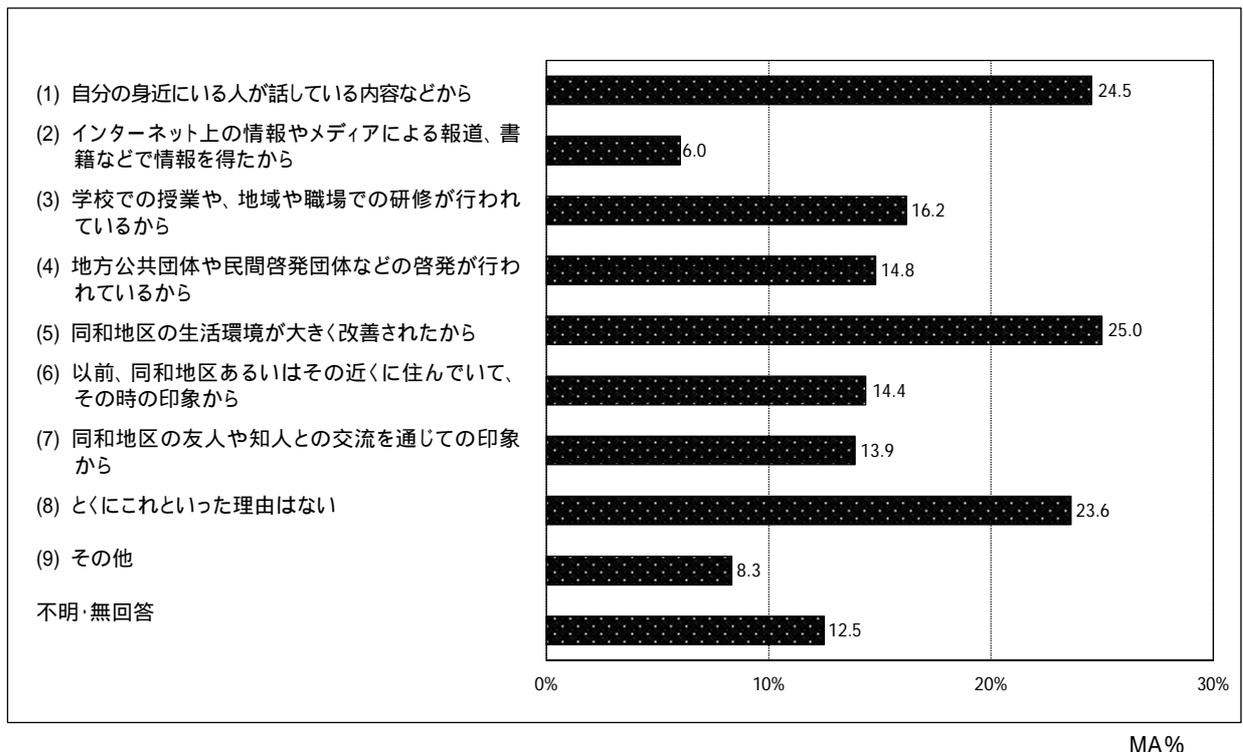
(3) 同和問題に関する差別意識や偏見が減少した理由

問9 - 2 同和問題に関する差別意識や偏見が、薄まりつつある、もはや残っていない、と思われるのはなぜですか。(はいくつでも)【問9で「3または4」のいずれかに回答された方対象】

【表3 - 3 - 3 - 1 同和問題に関する差別意識や偏見が減少した理由】

	(上段:人, 下段:MA%)										
	など自分の身近にいる人が話している内容	よるインターネット上の情報やメディアによる報道、書籍などで情報を得たから	が行われる学校の授業や、地域や職場での研修	発が地方公共団体や民間啓発団体などの啓	た同和地区の生活環境が大きく改善され	ん以前、同和地区あるいはその近くに住	て同和地区の友人や知人との交流を通じ	とくにこれといった理由はない	その他	不明・無回答	合計
市全体	53	13	35	32	54	31	30	51	18	27	216
	24.5	6.0	16.2	14.8	25.0	14.4	13.9	23.6	8.3	12.5	100.0

【図3 - 3 - 3 同和問題に関する差別意識や偏見が減少した理由】



問9で同和問題に関する差別意識や偏見が「3.薄まりつつある」「4.もはや残ってない」と答えた人に対して、その理由を尋ねたところ、「5.同和地区の生活環境が大きく改善されたから」と回答し

た割合が 25.0%と最も高く、次いで「1.自分の身近にいる人が話している内容などから」が 24.5%、「8.とくにこれといった理由はない」が 23.6%となっている。

性別でみると、男性では「5.同和地区の生活環境が大きく改善されたから」が 29.4%と最も高く、次いで「1.自分の身近にいる人が話している内容などから」が 25.7%、「3.学校での授業や、地域や職場での研修が行われているから」が 21.1%となっている。

女性では「8.とくにこれといった理由はない」が 30.4%と最も高く、次いで「1.自分の身近にいる人が話している内容などから」が 23.5%、「5.同和地区の生活環境が大きく改善されたから」が 20.6%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、10 歳代では「1.自分の身近にいる人が話している内容などから」と「2.インターネット上の情報やメディアによる報道、書籍などで情報を得たから」と「3.学校での授業や、地域や職場での研修が行われているから」で、ともに 100.0%となっており、20 歳代では「3.学校での授業や、地域や職場での研修が行われているから」で 42.9%、30 歳代では「8.とくにこれといった理由はない」で 21.7%、40 歳代では「1.自分の身近にいる人が話している内容などから」と「8.とくにこれといった理由はない」で、ともに 25.7%となっている。また、50 歳代では「1.自分の身近にいる人が話している内容などから」で 29.2%、60 歳代、70 歳以上では「5.同和地区の生活環境が大きく改善されたから」であり、数値は各々 27.9%、36.4%となっている。【表 3 - 3 - 3 - 2】

【表 3 - 3 - 3 - 2 性別・年齢別 同和問題に関する差別意識や偏見が減少した理由】

		(上段:人, 下段:MA%)										
		な 自 分 の 身 近 に い る 人 が 話 し て い る 内 容	よ る 報 道 、 ネ ッ ト 上 の 情 報 や メ デ ィ ア に よ る 情 報	が 学 校 で の 授 業 や 、 地 域 や 職 場 で の 研 修	発 行 団 体 や 民 間 団 体 な ど の 啓 蒙	同 和 地 区 の 生 活 環 境 が 大 き く 改 善 さ れ	以 前 、 同 和 地 区 の 時 の 印 象 が 近 く に 住	同 和 地 区 の 友 人 や 知 人 と の 交 流 を 通 じ	と く に こ れ と い っ た 理 由 は な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		53	13	35	32	54	31	30	51	18	27	216
		24.5	6.0	16.2	14.8	25.0	14.4	13.9	23.6	8.3	12.5	100.0
性別	男性	28	8	23	17	32	20	19	19	11	15	109
		25.7	7.3	21.1	15.6	29.4	18.3	17.4	17.4	10.1	13.8	100.0
	女性	24	5	11	14	21	11	11	31	6	11	102
		23.5	4.9	10.8	13.7	20.6	10.8	10.8	30.4	5.9	10.8	100.0
	その他、回答したくない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	
不明・無回答		1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	4
	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	100.0
年齢別	10歳代	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	20歳代	2	2	3	1	0	2	2	0	2	0	7
		28.6	28.6	42.9	14.3	0.0	28.6	28.6	0.0	28.6	0.0	100.0
	30歳代	4	4	2	1	1	4	2	5	5	4	23
		17.4	17.4	8.7	4.3	4.3	17.4	8.7	21.7	21.7	17.4	100.0
	40歳代	9	0	5	1	8	7	7	9	1	4	35
		25.7	0.0	14.3	2.9	22.9	20.0	20.0	25.7	2.9	11.4	100.0
	50歳代	14	3	5	7	12	6	9	8	5	4	48
		29.2	6.3	10.4	14.6	25.0	12.5	18.8	16.7	10.4	8.3	100.0
60歳代	9	1	7	8	12	6	3	11	1	7	43	
	20.9	2.3	16.3	18.6	27.9	14.0	7.0	25.6	2.3	16.3	100.0	
70歳以上	13	2	11	13	20	6	7	17	3	8	55	
	23.6	3.6	20.0	23.6	36.4	10.9	12.7	30.9	5.5	14.5	100.0	
不明・無回答		1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	4
	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」では「1.自分の身近にいる人が話している内容などから」と「5.同和地区の生活環境が大きく改善されたから」と「6.以前、同和地区あるいはその近くに住んでいて、その時の印象から」で、ともに25.0%となっており、「民間正規雇用」では「5.同和地区の生活環境が大きく改善されたから」で22.8%、「公務員、教員」では「1.自分の身近にいる人が話している内容などから」と「3.学校での授業や、地域や職場での研修が行われているから」で、ともに55.6%となっている。また、「非正規雇用」では「1.自分の身近にいる人が話している内容などから」で25.7%、「家事専業、学生、無職」では「8.とくにこれといった理由はない」で32.1%となっている。【表3-3-3-3】

【表3-3-3-3 職業別 同和問題に関する差別意識や偏見が減少した理由】

(上段:人、下段:MA%)

	自分の身近にいる人が話している内容などから	インターネット上の情報やメディアによる報道、書籍などで情報を得たから	学校での授業や、地域や職場での研修が行われているから	地方公共団体や民間啓発団体などの啓発が行われているから	同和地区の生活環境が大きく改善されたから	以前、同和地区あるいはその近くに住んでいて、その時の印象から	同和地区の友人や知人との交流を通じて同和地区の印象から	とくにこれといった理由はない	その他	不明・無回答	合計
市全体	53	13	35	32	54	31	30	51	18	27	216
	24.5	6.0	16.2	14.8	25.0	14.4	13.9	23.6	8.3	12.5	100.0
自営業	7	2	4	1	7	7	5	6	3	3	28
	25.0	7.1	14.3	3.6	25.0	25.0	17.9	21.4	10.7	10.7	100.0
民間正規雇用	12	4	5	6	13	10	9	12	5	7	57
	21.1	7.0	8.8	10.5	22.8	17.5	15.8	21.1	8.8	12.3	100.0
公務員、教員	5	1	5	2	4	0	2	0	0	0	9
	55.6	11.1	55.6	22.2	44.4	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	100.0
非正規雇用	9	2	6	7	8	4	3	6	3	5	35
	25.7	5.7	17.1	20.0	22.9	11.4	8.6	17.1	8.6	14.3	100.0
家事専業、学生、無職	20	4	14	15	20	10	10	27	7	11	84
	23.8	4.8	16.7	17.9	23.8	11.9	11.9	32.1	8.3	13.1	100.0
不明・無回答	0	0	1	1	2	0	1	0	0	1	3
	0.0	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」「高校卒」では「8.とくにこれといった理由はない」であり、数値は各々45.5%、26.2%となっており、「短大卒」では「1.自分の身近にいる人が話している内容などから」で31.7%、「大学卒」では「5.同和地区の生活環境が大きく改善されたから」で27.4%となっている。【表3 - 3 - 3 - 4】

【表3 - 3 - 3 - 4 学歴別 同和問題に関する差別意識や偏見が減少した理由】

		(上段:人、下段:MA%)										
		自分の身近にいる人が話している内容などから	インターネット上の情報やメディアによる報道、書籍などで得た情報	学校での授業や、地域や職場での研修が行われているから	地方公共団体や民間啓発団体などの啓発が行われているから	同和地区の生活環境が大きく改善されたから	以前、同和地区あるいはその近くに住んでいて、その時の印象から	同和地区の友人や知人との交流を通じての印象から	とくにこれといった理由はない	その他	不明・無回答	合計
市全体		53	13	35	32	54	31	30	51	18	27	216
		24.5	6.0	16.2	14.8	25.0	14.4	13.9	23.6	8.3	12.5	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	4	1	2	1	9	2	3	10	1	2	22
		18.2	4.5	9.1	4.5	40.9	9.1	13.6	45.5	4.5	9.1	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	20	2	8	16	17	15	8	22	9	12	84
		23.8	2.4	9.5	19.0	20.2	17.9	9.5	26.2	10.7	14.3	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	13	4	7	4	6	4	8	4	2	8	41
		31.7	9.8	17.1	9.8	14.6	9.8	19.5	9.8	4.9	19.5	100.0
	4.大学、大学院	15	6	15	8	17	10	9	14	5	4	62
		24.2	9.7	24.2	12.9	27.4	16.1	14.5	22.6	8.1	6.5	100.0
5.その他	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	
	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	
不明・無回答	1	0	2	2	5	0	2	1	0	1	6	
	16.7	0.0	33.3	33.3	83.3	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7	100.0	

3 - 4 . 同和地区の人に対する就職・結婚時の現状イメージと展望

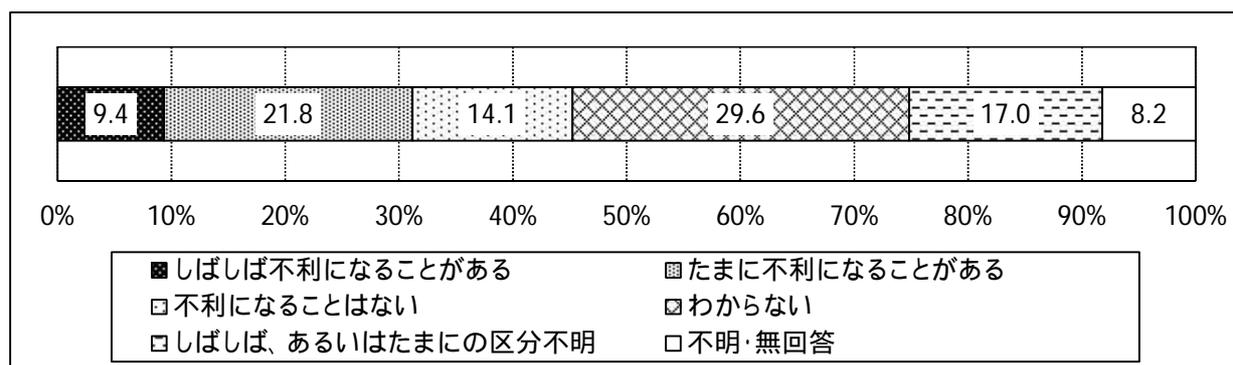
(1) 同和地区の人に対する就職差別の現状イメージ

問10 - 1 現在、同和地区の人は、就職するときに不利になることがありますか。
(は1つ)

【表3 - 4 - 1 - 1 同和地区の人に対する就職差別の現状イメージ】

	(上段:人、下段:%)						合計
	と し ば あ る こ と は な い	た ま に 不 利 に な る こ と は な い	不 利 に な る こ と は な い	わ か ら な い	ま し ば あ る こ と は な い	ま し ば あ る こ と は な い	
市全体	64	149	96	202	116	56	683
	9.4	21.8	14.1	29.6	17.0	8.2	100.0

【図3 - 4 - 1 同和地区の人に対する就職差別の現状イメージ】



「わからない」等と回答しながら、問10 - 2に回答があった場合は、「しばしば、あるいはたまにの区分不明」として集計している。

同和地区の人は、就職するときに不利になることがあると思うかについて尋ねたところ、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、48.2%となっている。一方で、「不利になることはない」と答えた人の割合は14.1%となっている。

性別でみると、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、男性が51.8%、女性が46.2%となっている。一方で、「不利になることはない」と答えた人の割合は、男性が13.7%、女性が14.1%となっている。

年齢別でみると、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、60歳代が53.8%と最も高く、次いで50

歳代が 52.1%、70 歳以上が 51.0%となっている。

一方で、「不利になることはない」と答えた人の割合は、30 歳代が 24.7%で最も高く、次いで 40 歳代が 21.7%となっている。【表 3 - 4 - 1 - 2】

【表 3 - 4 - 1 - 2 性別・年齢別 同和地区の人に対する就職差別の現状イメージ】

(上段:人、下段:%)

		としばしば不利になること	がたまに不利になること	不利になることはない	わからない	まじの区分、あるいは不明	不明・無回答	合計
市全体		64	149	96	202	116	56	683
		9.4	21.8	14.1	29.6	17.0	8.2	100.0
性別	男性	29	63	38	71	52	25	278
		10.4	22.7	13.7	25.5	18.7	9.0	100.0
	女性	33	83	54	127	61	25	383
		8.6	21.7	14.1	33.2	15.9	6.5	100.0
	その他、回答したくない	0	1	0	2	0	0	3
	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	100.0	
	不明・無回答	2	2	4	2	3	6	19
		10.5	10.5	21.1	10.5	15.8	31.6	100.0
年齢別	10歳代	2	2	0	3	0	1	8
		25.0	25.0	0.0	37.5	0.0	12.5	100.0
	20歳代	5	12	8	25	1	0	51
		9.8	23.5	15.7	49.0	2.0	0.0	100.0
	30歳代	10	17	20	17	12	5	81
		12.3	21.0	24.7	21.0	14.8	6.2	100.0
	40歳代	10	27	25	34	11	8	115
		8.7	23.5	21.7	29.6	9.6	7.0	100.0
	50歳代	9	37	9	40	17	9	121
		7.4	30.6	7.4	33.1	14.0	7.4	100.0
60歳代	16	26	15	38	28	7	130	
	12.3	20.0	11.5	29.2	21.5	5.4	100.0	
70歳以上	10	25	15	43	45	19	157	
	6.4	15.9	9.6	27.4	28.7	12.1	100.0	
	不明・無回答	2	3	4	2	2	7	20
		10.0	15.0	20.0	10.0	10.0	35.0	100.0

職業別でみると、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、「公務員、教員」が 62.5%で最も高く、次いで「自営業」が 56.3%、「非正規雇用」が 48.7%となっている。

一方で、「不利になることはない」と答えた人の割合は、「民間正規雇用」が 20.6%で最も高くなっている。【表 3 - 4 - 1 - 3】

【表3 - 4 - 1 - 3 職業別 同和地区の人に対する就職差別の現状イメージ】

(上段:人、下段:%)

	としばしば不利になること	がたまに不利になること	不利になることはない	わからない	まじの区分、あるいは不明	不明・無回答	合計
市全体	64	149	96	202	116	56	683
	9.4	21.8	14.1	29.6	17.0	8.2	100.0
自営業	8	21	10	19	16	6	80
	10.0	26.3	12.5	23.8	20.0	7.5	100.0
民間正規雇用	20	40	36	49	22	8	175
	11.4	22.9	20.6	28.0	12.6	4.6	100.0
公務員、教員	3	10	3	5	2	1	24
	12.5	41.7	12.5	20.8	8.3	4.2	100.0
非正規雇用	6	28	19	33	22	7	115
	5.2	24.3	16.5	28.7	19.1	6.1	100.0
家事専業、学生、無職	25	50	25	94	54	29	277
	9.0	18.1	9.0	33.9	19.5	10.5	100.0
不明・無回答	2	0	3	2	0	5	12
	16.7	0.0	25.0	16.7	0.0	41.7	100.0

学歴別でみると、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、「短大卒」が51.0%で最も高く、次いで「高校卒」が49.8%となっている。

一方で、「不利になることはない」と答えた人の割合は、「大学卒」が20.1%で最も高く、次いで「短大卒」が13.3%となっている。【表3 - 4 - 1 - 4】

【表3 - 4 - 1 - 4 学歴別 同和地区の人に対する就職差別の現状イメージ】

(上段:人、下段:%)

		としばしば不利になること	がたまに不利になること	不利になることはない	わからない	まじの区分、あるいは不明	不明・無回答	合計
市全体		64	149	96	202	116	56	683
		9.4	21.8	14.1	29.6	17.0	8.2	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	7	9	6	25	26	15	88
		8.0	10.2	6.8	28.4	29.5	17.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	19	57	28	76	44	17	241
		7.9	23.7	11.6	31.5	18.3	7.1	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	16	38	19	42	19	9	143
		11.2	26.6	13.3	29.4	13.3	6.3	100.0
	4.大学、大学院	21	45	38	53	23	9	189
		11.1	23.8	20.1	28.0	12.2	4.8	100.0
	5.その他	0	0	1	2	3	1	7
		0.0	0.0	14.3	28.6	42.9	14.3	100.0
不明・無回答	1	0	4	4	1	5	15	
	6.7	0.0	26.7	26.7	6.7	33.3	100.0	

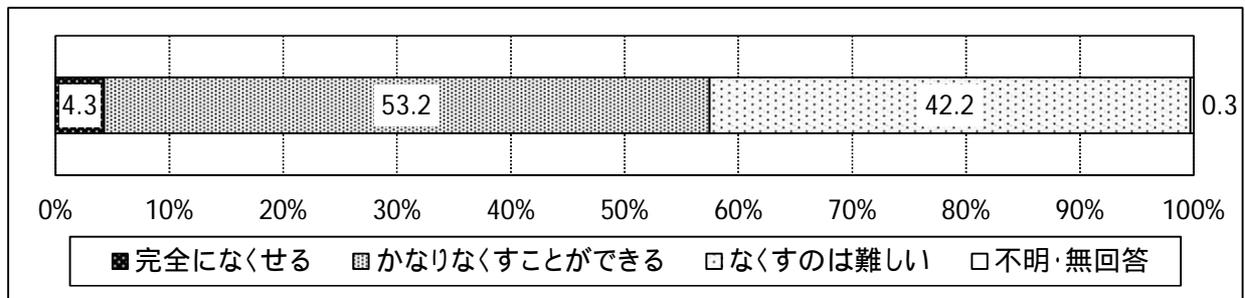
(2) 同和地区の人に対する就職差別の将来展望

問10-2 それは、近い将来、なくすことができますか。(は1つ)

【表3-4-2-1 同和地区の人に対する就職差別の将来展望】

	(上段:人、下段:%)				合計
	完全 になく せる	き かな りな くす こと が で き る	な く す の は 難 し い	不 明 ・ 無 回 答	
市全体	14	175	139	1	329
	4.3	53.2	42.2	0.3	100.0

【図3-4-2 同和地区の人に対する就職差別の将来展望】



問10-1で、「現在、同和地区の人は、就職するときに不利になることがある」と回答した人に対して、それは近い将来なくすことができると思うかについて尋ねたところ、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と回答した人の合計の割合は57.4%となっているのに対し、「なくすのは難しい」は42.2%となっている。

性別でみると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、男性が57.6%、女性が58.2%であるのに対し、「なくすのは難しい」は、男性が41.7%、女性が41.8%となっている。

年齢別でみると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、70歳以上が67.5%で最も高く、次いで50歳代が61.9%、60歳代が60.0%となっている。

一方で、「なくすのは難しい」と答えた人の割合は、30歳代が56.4%で最も高く、次いで40歳代が54.2%、10歳代、20歳代がともに50.0%となっている。【表3-4-2-2】

【表3 - 4 - 2 - 2 性別・年齢別 同和地区の人に対する就職差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

		完全になくせる	かなりなくすることができる	なくすのは難しい	不明・無回答	合計
市全体		14	175	139	1	329
		4.3	53.2	42.2	0.3	100.0
性別	男性	10	73	60	1	144
		6.9	50.7	41.7	0.7	100.0
	女性	4	99	74	0	177
		2.3	55.9	41.8	0.0	100.0
	その他、回答したくない	0	0	1	0	1
	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	
年齢別	不明・無回答	0	3	4	0	7
		0.0	42.9	57.1	0.0	100.0
	10歳代	0	2	2	0	4
		0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
	20歳代	1	8	9	0	18
		5.6	44.4	50.0	0.0	100.0
	30歳代	1	16	22	0	39
		2.6	41.0	56.4	0.0	100.0
	40歳代	3	19	26	0	48
	6.3	39.6	54.2	0.0	100.0	
50歳代	4	35	24	0	63	
	6.3	55.6	38.1	0.0	100.0	
60歳代	1	41	27	1	70	
	1.4	58.6	38.6	1.4	100.0	
70歳以上	3	51	26	0	80	
	3.8	63.8	32.5	0.0	100.0	
不明・無回答	1	3	3	0	7	
	14.3	42.9	42.9	0.0	100.0	

職業別でみると、「完全になくせる」「かなりなくすることができる」と答えた人の合計の割合は、「自営業」が64.4%で最も高く、次いで「公務員、教員」が60.0%、「家事専業、学生、無職」が58.1%となっている。

一方で、「なくすのは難しい」と答えた人の割合は、「民間正規雇用」が45.1%で最も高く、次いで「非正規雇用」が44.6%となっている。【表3 - 4 - 2 - 3】

【表3-4-2-3 職業別 同和地区の人に対する就職差別の将来展望】

(上段:人,下段:%)

	完全 になく せる	き る か な り な く す こ と が で き る	な く す の は 難 し い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	14 4.3	175 53.2	139 42.2	1 0.3	329 100.0
自営業	2 4.4	27 60.0	16 35.6	0 0.0	45 100.0
民間正規雇用	5 6.1	40 48.8	37 45.1	0 0.0	82 100.0
公務員、教員	2 13.3	7 46.7	6 40.0	0 0.0	15 100.0
非正規雇用	1 1.8	30 53.6	25 44.6	0 0.0	56 100.0
家事専業、学生、無職	4 3.1	71 55.0	53 41.1	1 0.8	129 100.0
不明・無回答	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0

学歴別でみると、「完全になくせる」「かなりなくすることができる」と答えた人の合計の割合は、「高校卒」が60.8%で最も高く、次いで「大学卒」が57.3%となっている。

一方で、「なくすのは難しい」と答えた人の割合は、「中学卒」が47.6%と最も高く、次いで「短大卒」が45.2%となっている。【表3-4-2-4】

【表3-4-2-4 学歴別 同和地区の人に対する就職差別の将来展望】

(上段:人,下段:%)

		完全 になく せる	き る か な り な く す こ と が で き る	な く す の は 難 し い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		14 4.3	175 53.2	139 42.2	1 0.3	329 100.0
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	2 4.8	20 47.6	20 47.6	0 0.0	42 100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	3 2.5	70 58.3	47 39.2	0 0.0	120 100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	1 1.4	39 53.4	33 45.2	0 0.0	73 100.0
	4.大学、大学院	8 9.0	43 48.3	37 41.6	1 1.1	89 100.0
	5.その他	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	3 100.0
	不明・無回答	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0

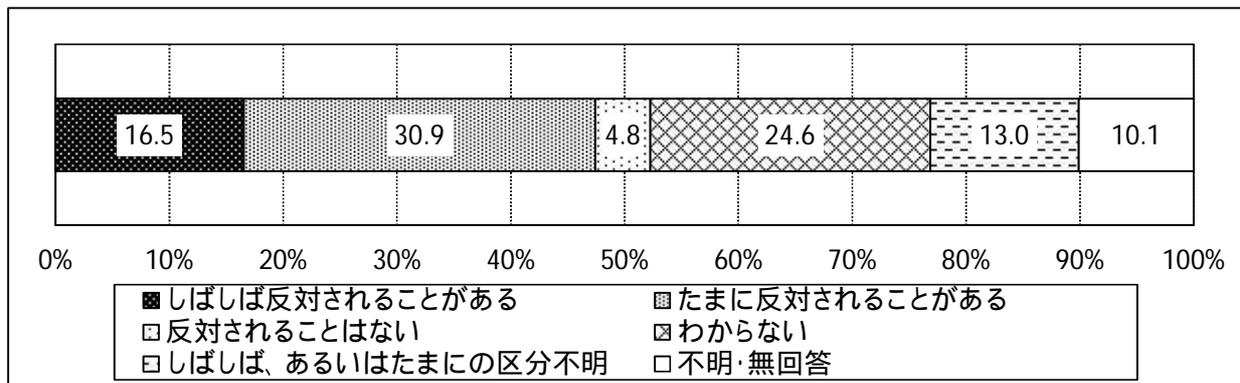
(3) 同和地区の人に対する結婚差別の現状イメージ

問10-3 現在、同和地区の人は、結婚する際に相手の親族などに反対されることがあると思いますか。(は1つ)

【表3-4-3-1 同和地区の人に対する結婚差別の現状イメージ】

	(上段:人、下段:%)						合計
	としばしば反対されること	たまに反対されること	反対されることはない	わからない	まじまじの区分不明	不明・無回答	
市全体	113	211	33	168	89	69	683
	16.5	30.9	4.8	24.6	13.0	10.1	100.0

【図3-4-3 同和地区の人に対する結婚差別の現状イメージ】



「わからない」等と回答しながら、問10-4に回答があった場合は、「しばしば、あるいはたまにの区分不明」として集計している。

同和地区の人は、結婚する際に相手の親族などに反対されることがあると思うかについて尋ねたところ、「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と回答した人の合計の割合は60.5%であるのに対し、「反対されることはない」は4.8%となっている。

性別でみると、「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、男性が58.6%、女性が62.7%であるのに対し、「反対されることはない」は、男性が5.8%、女性が4.2%となっている。

年齢別でみると、「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、50歳代が66.9%で最も高く、次いで30歳代が64.2%、40歳代と60歳代が60.0%となっている。

一方で、「反対されることはない」と答えた人の割合は、10歳代が25.0%で最も高くなっている。

【表3-4-3-2】

【表3 - 4 - 3 - 2 性別・年齢別 同和地区の人に対する結婚差別の現状イメージ】

(上段:人、下段:%)

		と しば しば 反 対 さ れ る こ と	た ま に 反 対 さ れ る こ と	反 対 さ れ る こ と は な い	わ か ら な い	ま し ば し ば の 区 分 不 明 あ る い は た	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		113 16.5	211 30.9	33 4.8	168 24.6	89 13.0	69 10.1	683 100.0
性別	男性	44 15.8	80 28.8	16 5.8	67 24.1	39 14.0	32 11.5	278 100.0
	女性	67 17.5	126 32.9	16 4.2	97 25.3	47 12.3	30 7.8	383 100.0
	その他、回答したくない	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	3 100.0
	不明・無回答	1 5.3	5 26.3	1 5.3	3 15.8	3 15.8	6 31.6	19 100.0
	不明・無回答	1 5.3	5 26.3	1 5.3	3 15.8	3 15.8	6 31.6	19 100.0
年齢別	10歳代	3 37.5	0 0.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	8 100.0
	20歳代	10 19.6	18 35.3	1 2.0	19 37.3	0 0.0	3 5.9	51 100.0
	30歳代	13 16.0	29 35.8	7 8.6	17 21.0	10 12.3	5 6.2	81 100.0
	40歳代	22 19.1	41 35.7	5 4.3	30 26.1	6 5.2	11 9.6	115 100.0
	50歳代	26 21.5	45 37.2	5 4.1	25 20.7	10 8.3	10 8.3	121 100.0
	60歳代	18 13.8	38 29.2	4 3.1	35 26.9	22 16.9	13 10.0	130 100.0
	70歳以上	20 12.7	35 22.3	8 5.1	37 23.6	38 24.2	19 12.1	157 100.0
	不明・無回答	1 5.0	5 25.0	1 5.0	3 15.0	3 15.0	7 35.0	20 100.0
	不明・無回答	1 5.0	5 25.0	1 5.0	3 15.0	3 15.0	7 35.0	20 100.0

職業別でみると、「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、「公務員、教員」が75.0%で最も高く、次いで「非正規雇用」が67.8%、「民間正規雇用」が65.7%となっている。

一方で、「反対されることはない」と答えた人の割合は、「非正規雇用」が7.0%で最も高くなっている。【表3 - 4 - 3 - 3】

【表3 - 4 - 3 - 3 職業別 同和地区の人に対する結婚差別の現状イメージ】

(上段:人、下段:%)

	としばしば 反対されるこ と	がたまに 反対されるこ と	反対され ることはな い	わか らな い	ま し ば の 区 分 、 あ る い は た	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	113	211	33	168	89	69	683
	16.5	30.9	4.8	24.6	13.0	10.1	100.0
自営業	12	25	1	23	10	9	80
	15.0	31.3	1.3	28.8	12.5	11.3	100.0
民間正規雇用	40	59	8	39	16	13	175
	22.9	33.7	4.6	22.3	9.1	7.4	100.0
公務員、教員	3	13	1	3	2	2	24
	12.5	54.2	4.2	12.5	8.3	8.3	100.0
非正規雇用	17	50	8	20	11	9	115
	14.8	43.5	7.0	17.4	9.6	7.8	100.0
家事専業、学生、無職	41	60	14	82	49	31	277
	14.8	21.7	5.1	29.6	17.7	11.2	100.0
不明・無回答	0	4	1	1	1	5	12
	0.0	33.3	8.3	8.3	8.3	41.7	100.0

学歴別でみると、「しばしば反対されることがある」「たまに反対されることがある」「しばしば、あるいはたまにの区分不明」と答えた人の合計の割合は、「短大卒」が70.6%で最も高く、次いで「大学卒」が61.4%となっている。

一方で、「反対されることはない」と答えた人の割合は、「大学卒」が5.8%で最も高くなっている。【表3 - 4 - 3 - 4】

【表3 - 4 - 3 - 4 学歴別 同和地区の人に対する結婚差別の現状イメージ】

(上段:人、下段:%)

	としばしば 反対されるこ と	がたまに 反対されるこ と	反対され ることはな い	わか らな い	ま し ば の 区 分 、 あ る い は た	不 明 ・ 無 回 答	合 計	
市全体	113	211	33	168	89	69	683	
	16.5	30.9	4.8	24.6	13.0	10.1	100.0	
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	9	17	5	18	23	16	88
		10.2	19.3	5.7	20.5	26.1	18.2	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	32	72	12	71	34	20	241
		13.3	29.9	5.0	29.5	14.1	8.3	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	39	47	3	25	15	14	143
		27.3	32.9	2.1	17.5	10.5	9.8	100.0
	4.大学、大学院	32	71	11	49	13	13	189
		16.9	37.6	5.8	25.9	6.9	6.9	100.0
	5.その他	0	1	0	3	2	1	7
		0.0	14.3	0.0	42.9	28.6	14.3	100.0
不明・無回答	1	3	2	2	2	5	15	
	6.7	20.0	13.3	13.3	13.3	33.3	100.0	

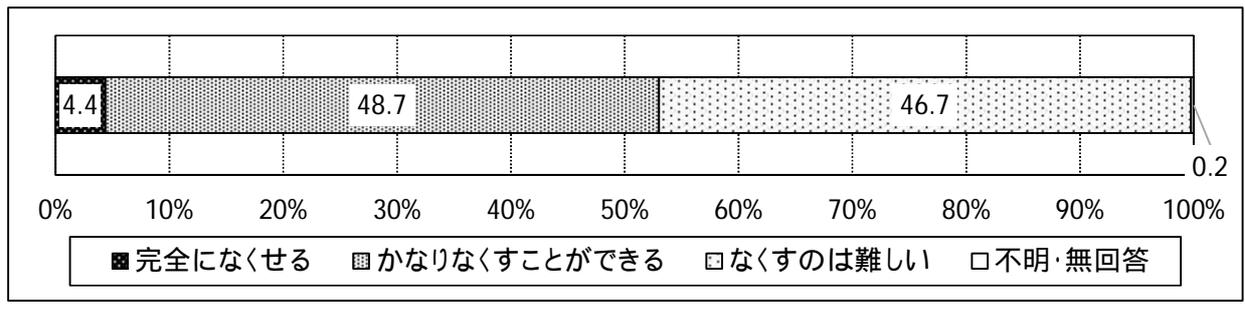
(4) 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望

問10-4 それは、近い将来、なくすことができますか。(は1つ)

【表3-4-4-1 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望】

	(上段:人、下段:%)				合計
	完全 になく せる	き か な り な く す こ と が で き る	な く す の は 難 し い	不 明 ・ 無 回 答	
市全体	18	201	193	1	413
	4.4	48.7	46.7	0.2	100.0

【図3-4-4 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望】



問10-3で、「現在、同和地区の人は、結婚する際に相手の親族等に反対されることがある」と回答した人に対して、それは近い将来なくすことができると思うかについて尋ねたところ、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は53.0%となっているのに対し、「なくすのは難しい」は46.7%となっている。

性別で見ると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、男性が55.2%、女性が51.3%であるのに対し、「なくすのは難しい」は、男性が44.2%、女性が48.8%となっている。

年齢別で見ると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、70歳以上が64.5%で最も高く、次いで60歳代が56.4%、50歳代が49.4%となっている。

一方で、「なくすのは難しい」と答えた人の割合は、10歳代が100.0%で最も高く、次いで20歳代が57.1%、30歳代が55.8%となっている。【表3-4-4-2】

【表3 - 4 - 4 - 2 性別・年齢別 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

		完全 になく せる	き かな りな くす こと が で	な く す の は 難 し い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		18 4.4	201 48.7	193 46.7	1 0.2	413 100.0
性別	男性	13 8.0	77 47.2	72 44.2	1 0.6	163 100.0
	女性	4 1.7	119 49.6	117 48.8	0 0.0	240 100.0
	その他、回答したくない	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
	不明・無回答	1 11.1	5 55.6	3 33.3	0 0.0	9 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	3 100.0
年齢別	10歳代	2 0.0	10 0.0	16 100.0	0 0.0	28 100.0
	20歳代	7.1 0	35.7 23	57.1 29	0.0 0	100.0 52
	30歳代	0.0 5	44.2 29	55.8 35	0.0 0	100.0 69
	40歳代	7.2 3	42.0 37	50.7 41	0.0 0	100.0 81
	50歳代	3.7 3	45.7 41	50.6 33	0.0 1	100.0 78
	60歳代	3.8 3	52.6 57	42.3 33	1.3 0	100.0 93
	70歳以上	3.2 2	61.3 4	35.5 3	0.0 0	100.0 9
	不明・無回答	22.2 2	44.4 4	33.3 3	0.0 0	100.0 9
	不明・無回答	22.2 2	44.4 4	33.3 3	0.0 0	100.0 9

職業別でみると、「完全になくせる」「かなりなくすることができる」と答えた人の合計の割合は、「自営業」が61.7%で最も高く、次いで「公務員、教員」が61.1%となっている。

一方で、「なくすのは難しい」と答えた人の割合は、「民間正規雇用」が51.3%で最も高く、次いで「家事専業、学生、無職」が47.3%となっている。【表3 - 4 - 4 - 3】

【表3 - 4 - 4 - 3 職業別 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望】

(上段:人、下段:%)

	完全 になく せる	き かな りな くす こと が で	な く す の は 難 し い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	18 4.4	201 48.7	193 46.7	1 0.2	413 100.0
自営業	3 6.4	26 55.3	18 38.3	0 0.0	47 100.0
民間正規雇用	7 6.1	49 42.6	59 51.3	0 0.0	115 100.0
公務員、教員	1 5.6	10 55.6	7 38.9	0 0.0	18 100.0
非正規雇用	2 2.6	41 52.6	35 44.9	0 0.0	78 100.0
家事専業、学生、無職	4 2.7	74 49.3	71 47.3	1 0.7	150 100.0
不明・無回答	1 20.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	5 100.0

学歴別でみると、「完全になくせる」「かなりなくすることができる」と答えた人の合計の割合は、「高校卒」が54.3%で最も高く、次いで「中学卒」が53.1%となっている。

一方で、「なくすのは難しい」と答えた人の割合は、「大学卒」が48.3%で最も高く、次いで「短大卒」が47.5%となっている。【表3 - 4 - 4 - 4】

【表3 - 4 - 4 - 4 学歴別 同和地区の人に対する結婚差別の将来展望】

		(上段:人、下段:%)				
		完全になくせる	かなりなくすることができる	なくすのは難しい	不明・無回答	合計
市全体		18	201	193	1	413
		4.4	48.7	46.7	0.2	100.0
学歴別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	2	24	23	0	49
		4.1	49.0	46.9	0.0	100.0
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	4	71	63	0	138
		2.9	51.4	45.7	0.0	100.0
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	3	50	48	0	101
		3.0	49.5	47.5	0.0	100.0
	4.大学、大学院	8	51	56	1	116
		6.9	44.0	48.3	0.9	100.0
5.その他	0	2	1	0	3	
	0.0	66.7	33.3	0.0	100.0	
不明・無回答	1	3	2	0	6	
	16.7	50.0	33.3	0.0	100.0	